當流茶之湯流傳集 六

445

797
.E5d

當流茶之湯流傳集巻之六目録

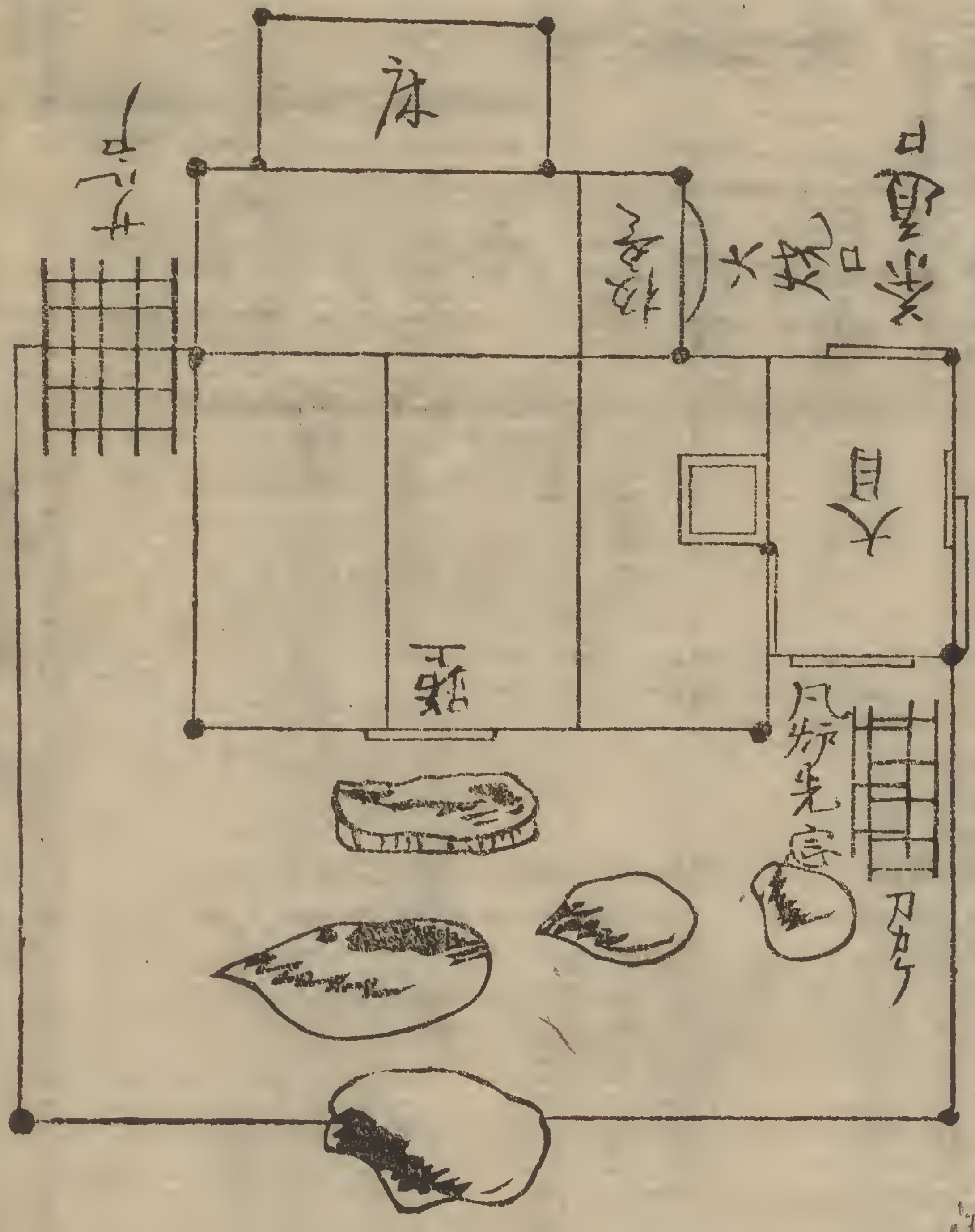
數寄屋之惣圖
床之圖并床の間窓総物掛釘花入総釘
踏て上より之圖
中柱之圖風炉先窓之圖代作掛之釘
上下釣棚之圖
色紙窓之圖
突上窓之圖
茶道口之圖
囲炉裏之圖
火焼口之圖

刀掛之圖
猿戸之圖
腰掛之圖
潜戸之圖
雛雪隠之圖
塵穴竹箸之圖
鉤枝板之圖
萱葺雪隠之圖
下腹雪隠之圖
刀掛之脇ゟ継る文案箒之圖
案雪隠之内ゟ継る箒之圖
拍子木之圖并寸極
銅鑼之抱の圖并寸極
喚鐘之手木之圖并寸極
石燈籠之圖　小遠公之寸法
利休堂古之圖
織部堂古之圖
羽箒之圖
風爐先屏風并ニ茎子屏風之圖
竹輪之寸法
茶巾之寸法

釜[illegible]之寸法
帛物之寸法
懸棹之寸法
茶筌洗之寸法
菓子[illegible][illegible]之寸法
數寄屋灯籠并路地行燈之寸法
路地下駄之寸法
釣瓶之水指之圖
真之手桶之圖

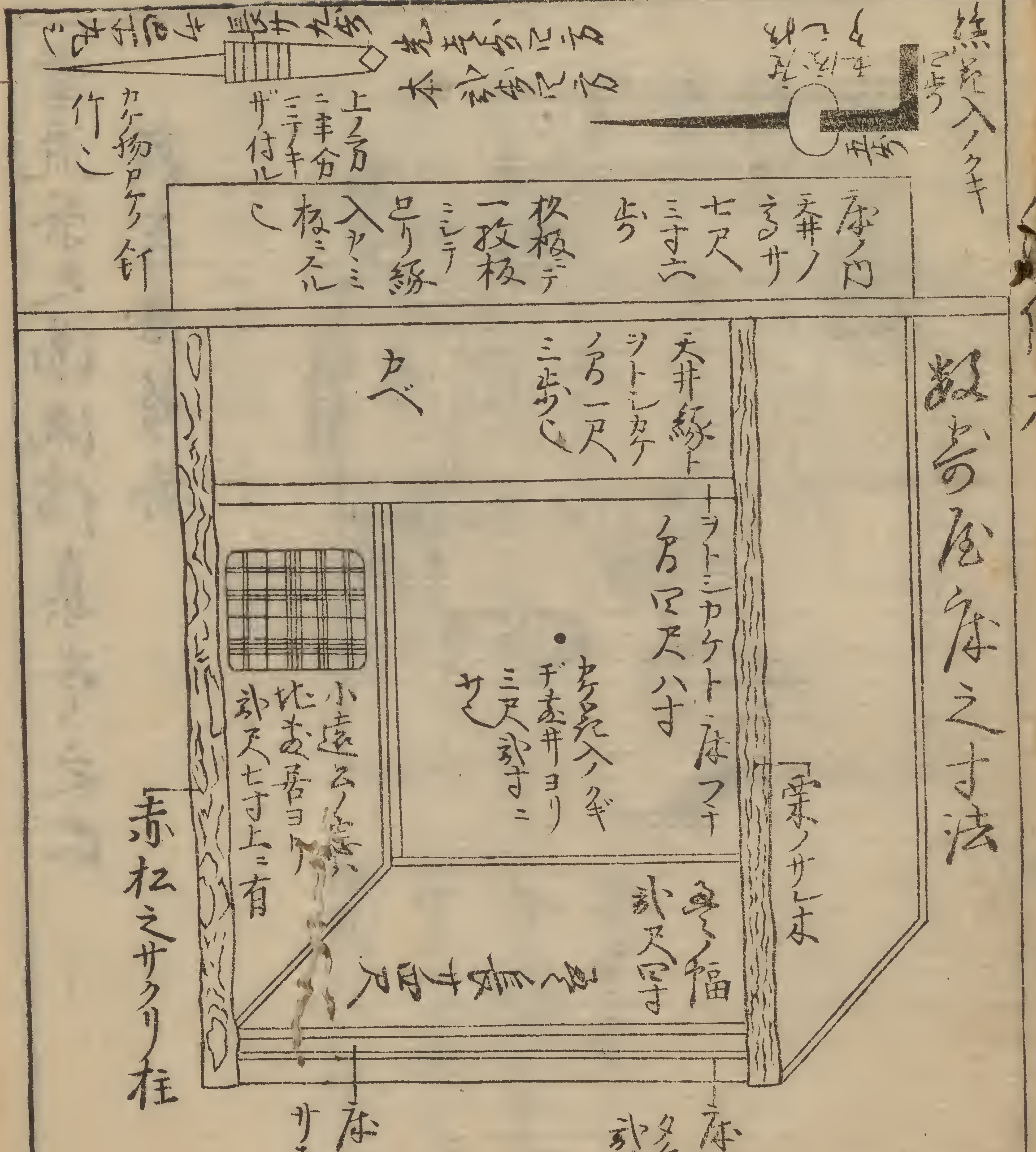
當流茶之湯流傳集巻之六

數寄屋之圖



如此圖奥ニ
其の圖をおこし
委細ある書
付ます

数寄屋座敷之寸法

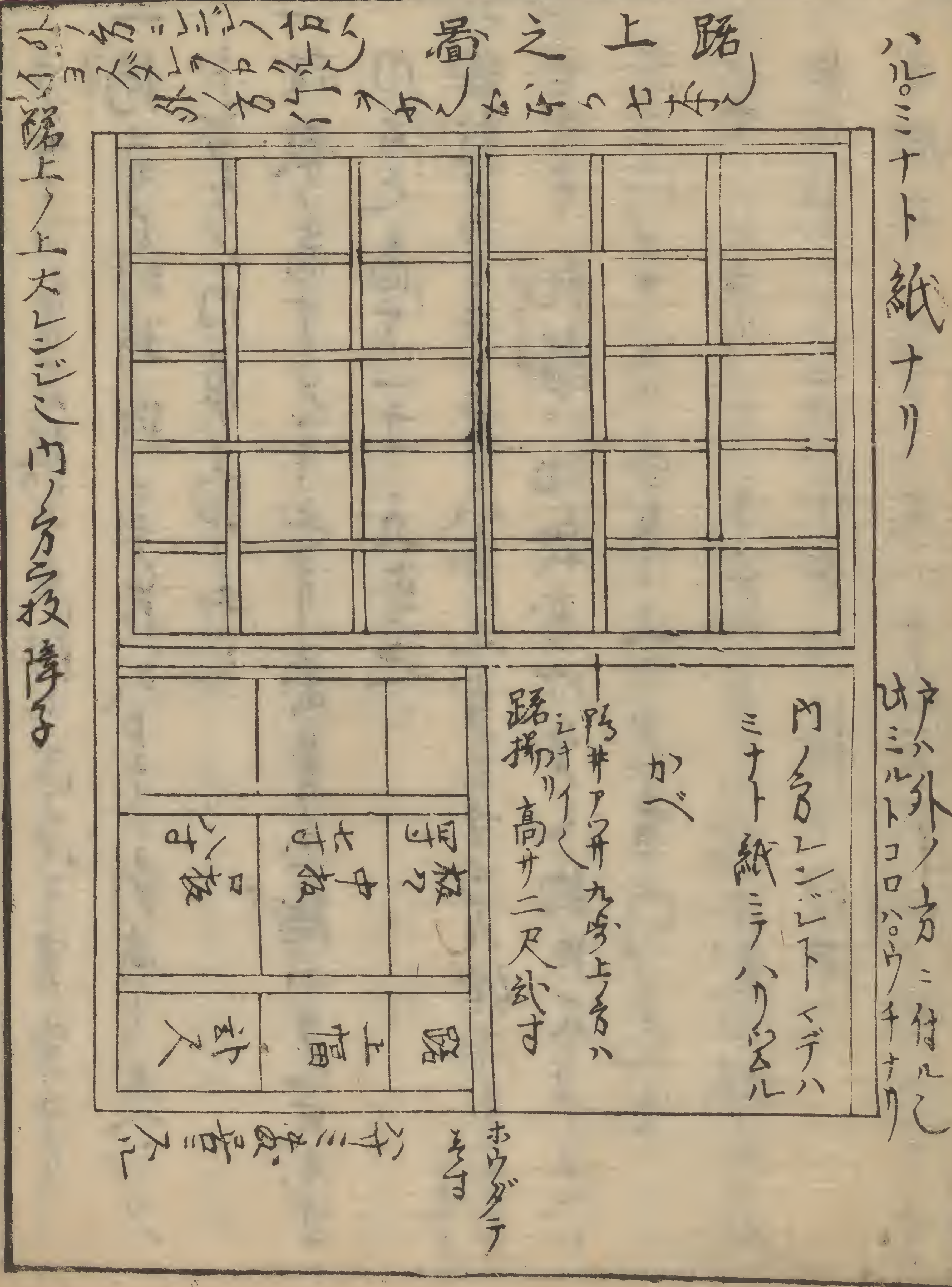


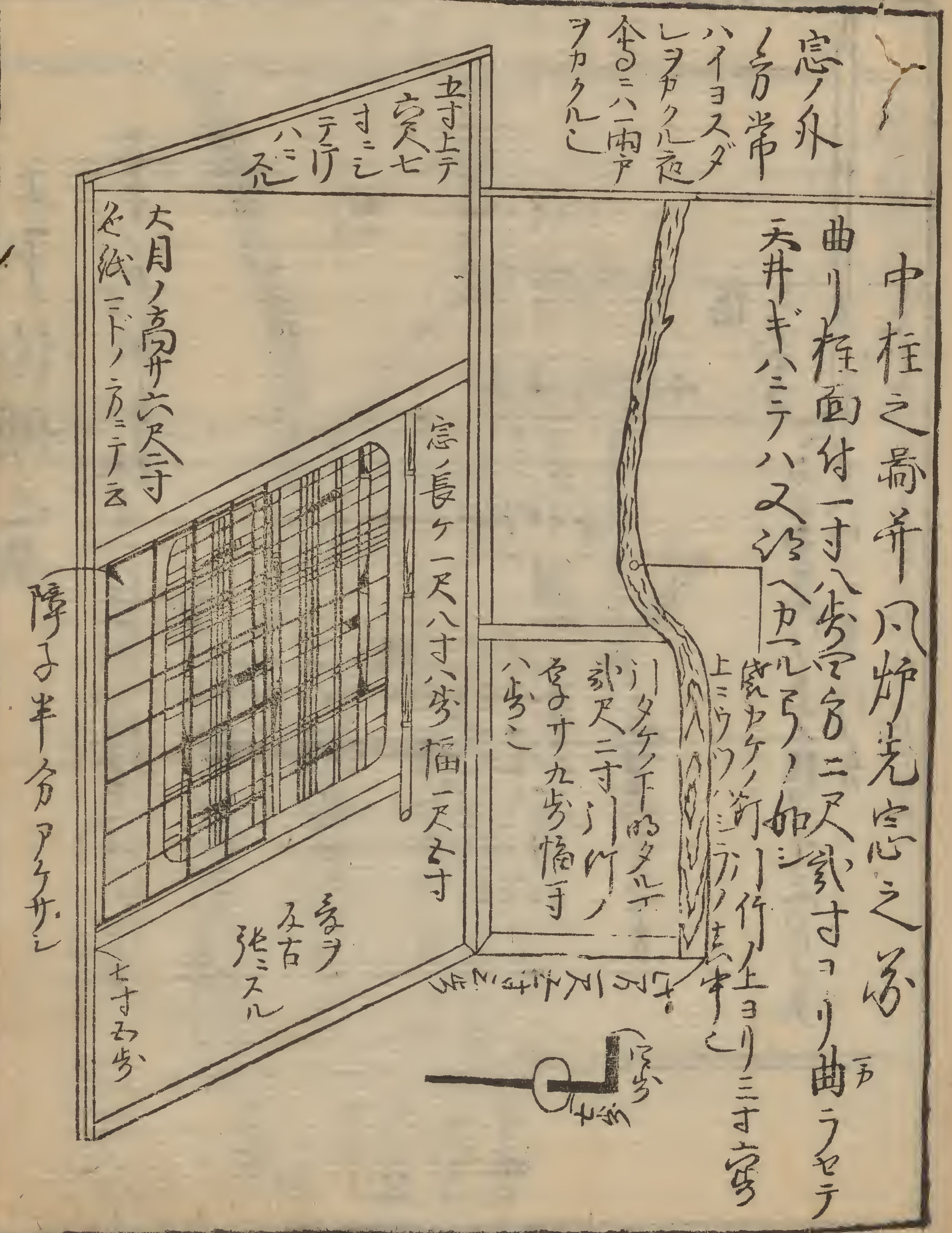
一古織云ノ座ノ内ニハ上ト比敷居ヨリ三尺二三寸ホド
上ニアリ窓ノ大サ亭主ノ物数寄次第也多ハ立長
ニスル下地窓也外ノ方ニ障子ヲ付ル也折クギ掛
ニテ下ニ竹釘上ノ方ヘ向脇ニ竹釘障子ヲハサムホド
ニ打上ヨリ障子ヲトレハムル
一座ノ内窓ヲ丸クトニモスル也是モ下地ド也
一座ニムロ座ト云アリ天井モカベニテヌリ口ニ也
角々ヲ丸クヌル也本式ハ常ノ如ク座柱ヲ建(タテ)
テ惣脇ヲ八寸宛カベヲヌリ出スヌリ留ハ一方ハ
カベニテヌリ一方ハ竹ナドヲ留ニ打事モアリ
一片ムロト云座アリ是ハ一方ヲカベニテヌリタル也

タルアリ又其タイラ一方貮尺ホト脇ヘ出タル
アリ是モムロ床ノヲモカゲ也
一床ノ内板ニシテ床縁ノ上ニデカブセトニ床縁
付タルアリ又床縁ハ如常ニシテ縁切ニ板ニシタ
ルアリ
一土床トテ畳ナシニ縁モ氏ニ又リ上ヲカミニテノハ
リタル在リ是ハ古織部ノ作ニテ草陳ニテ侘
テ成タリ然故當代爲ル沾タル世ニハ少ハ遠慮
モ可有カト先師ハ愚亦ニ語ル一ニ成
外ノ物数寄多シモヲ指置土床ハイラザル事也
其上床ナノ一花ヲスル故水ナトコボレタル時又グ

ヒテモヨキツノ方ニ板ニ縁ハ一ミレニ可寄事ナリ
一釣舟ノ釘打釘ニテ花入カケノ釘ホドニスベシヲ
トシカケノ内角ニ中打也
一板敷ノ高サ多キ土ヨリ敷居ノ上端ニテ一尺九寸
内石之高サ一寸五歩也
一懸柱ノフトサ二寸八歩九歩三寸ニテ化丸太ニ面付
一其天井 枕縁ハ物数寄次第也然共本ニテスベシ
中ハ竹ニテスル毎年又キカヘ青竹ニスル吉
一天井ハ二ツモノス、ケタルニテハルベシ但一尺楔ヨリ打ル
一其路井ノ厚サ九歩ハ柱ト同事也
一其腰張ノ高サ一尺八寸貳歩路楊ノ脇ハ窓下ニテ

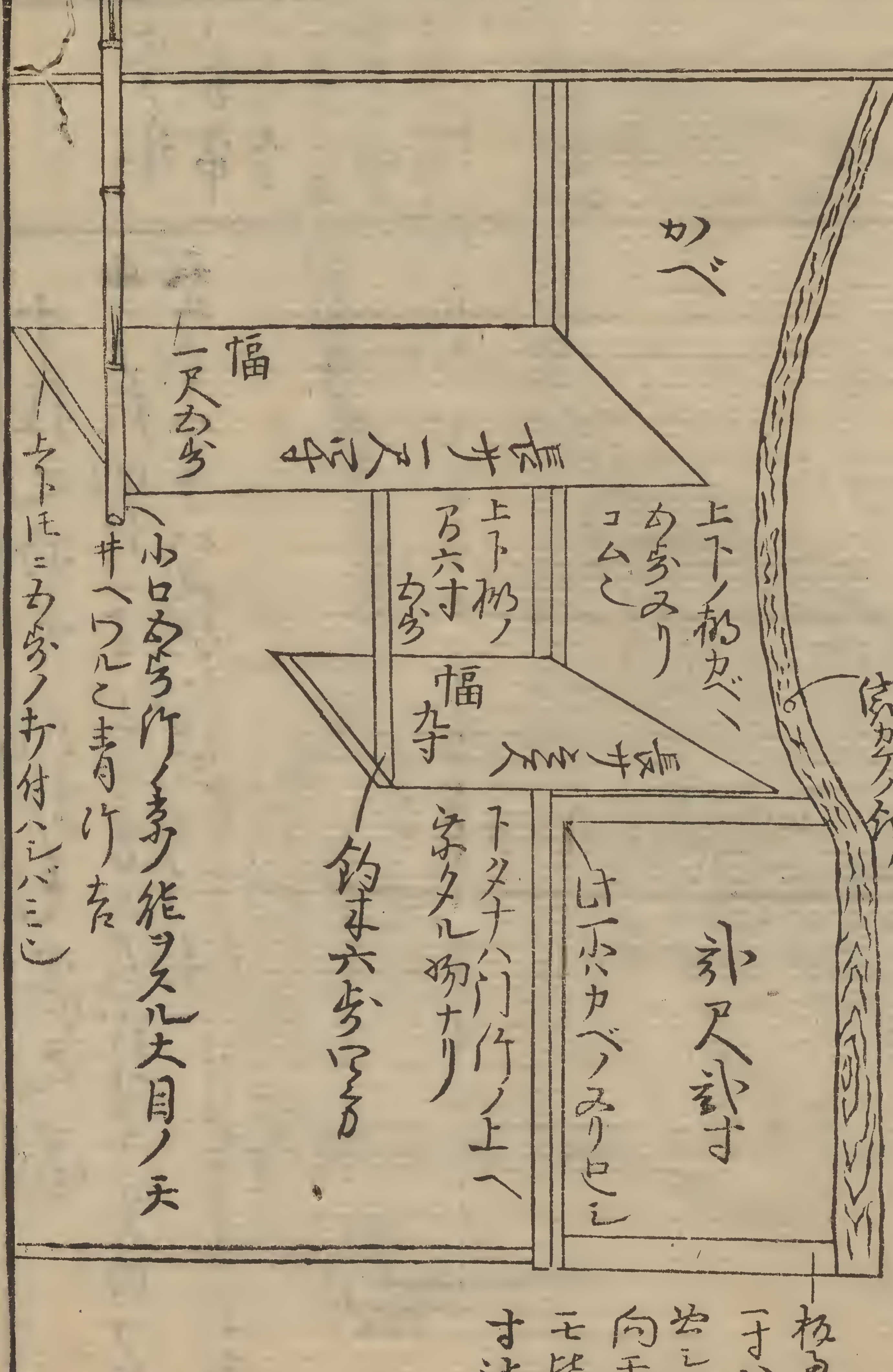
路上之図


ハル。ミナト紙ナリ
路上ノ上大レンジ之内ノ方ニ段障子
内ノ方レンジレトイデハ
ミナト紙ニテハリ候ル
かべ
高サ二尺弐寸
路
上幅
弐尺
戸ハ外ノ方ニ付ル也
ホウダテ


中柱之図并風炉先窓之図
曲リ柱面付一寸八歩
天井ギハニテハ
窓ノ外ノ方常ハヨスダレヲカクル也
窓長ケ一尺八寸八歩幅一尺五寸
大目ノ高サ六尺六寸
障子半分アケサシ
七寸五歩

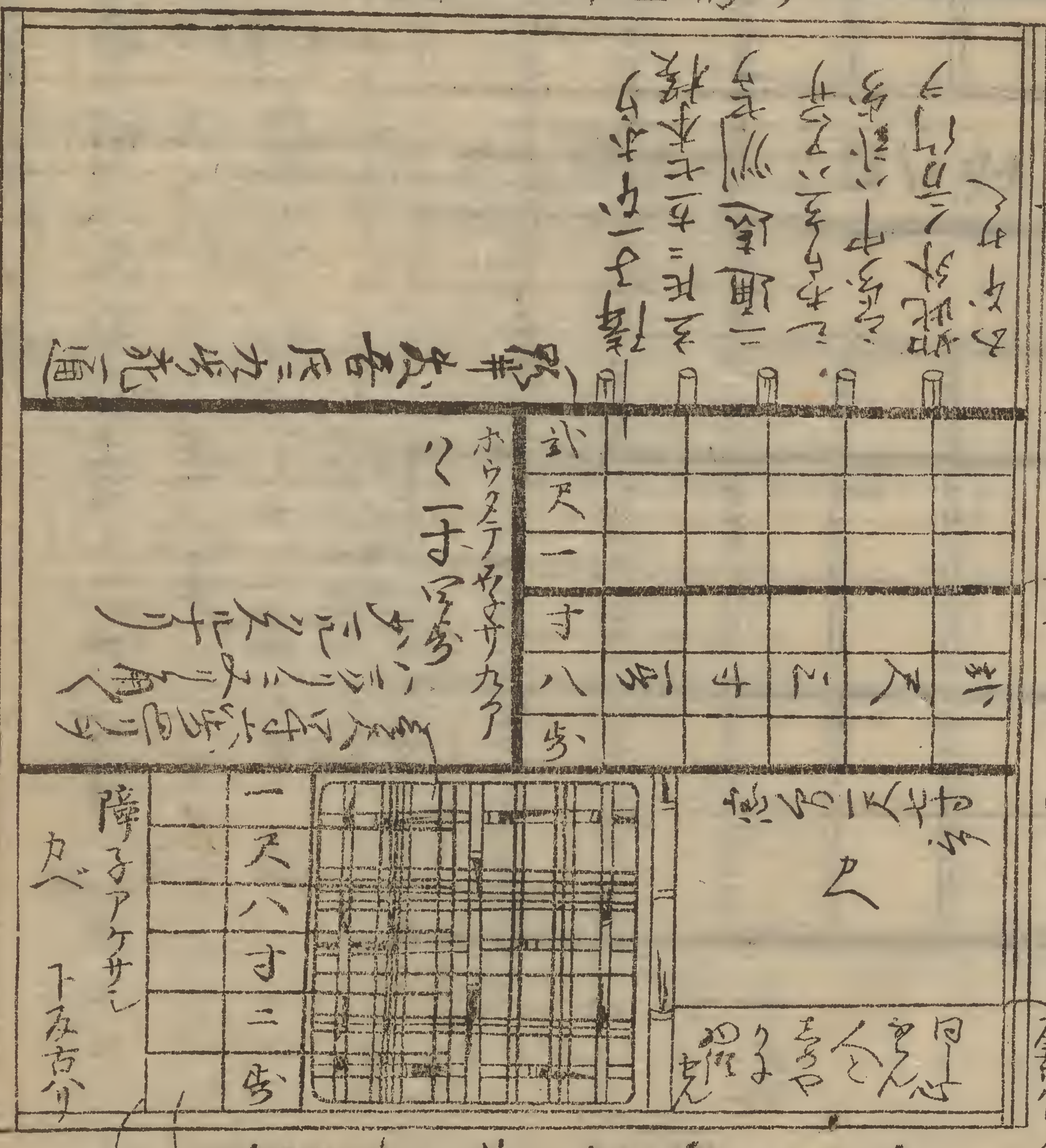
上下釣棚之圖

上下ノ釣棚相板ニテ白木之板ノアツサ六分



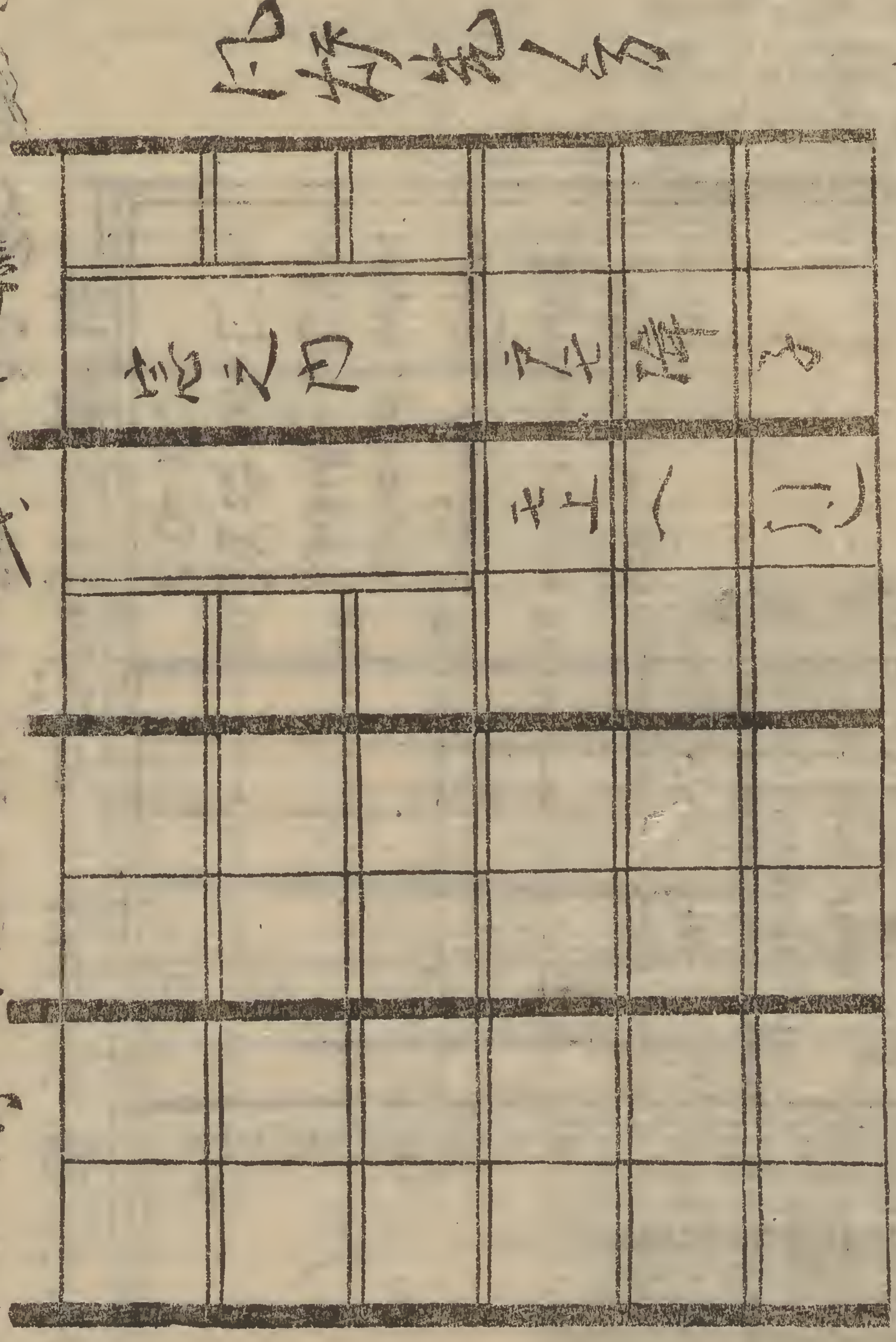
色紙窓之圖

大目ノ内ノ腰張ノ高サ七寸五分但シ一ドト



一ツキ上窓ノ図

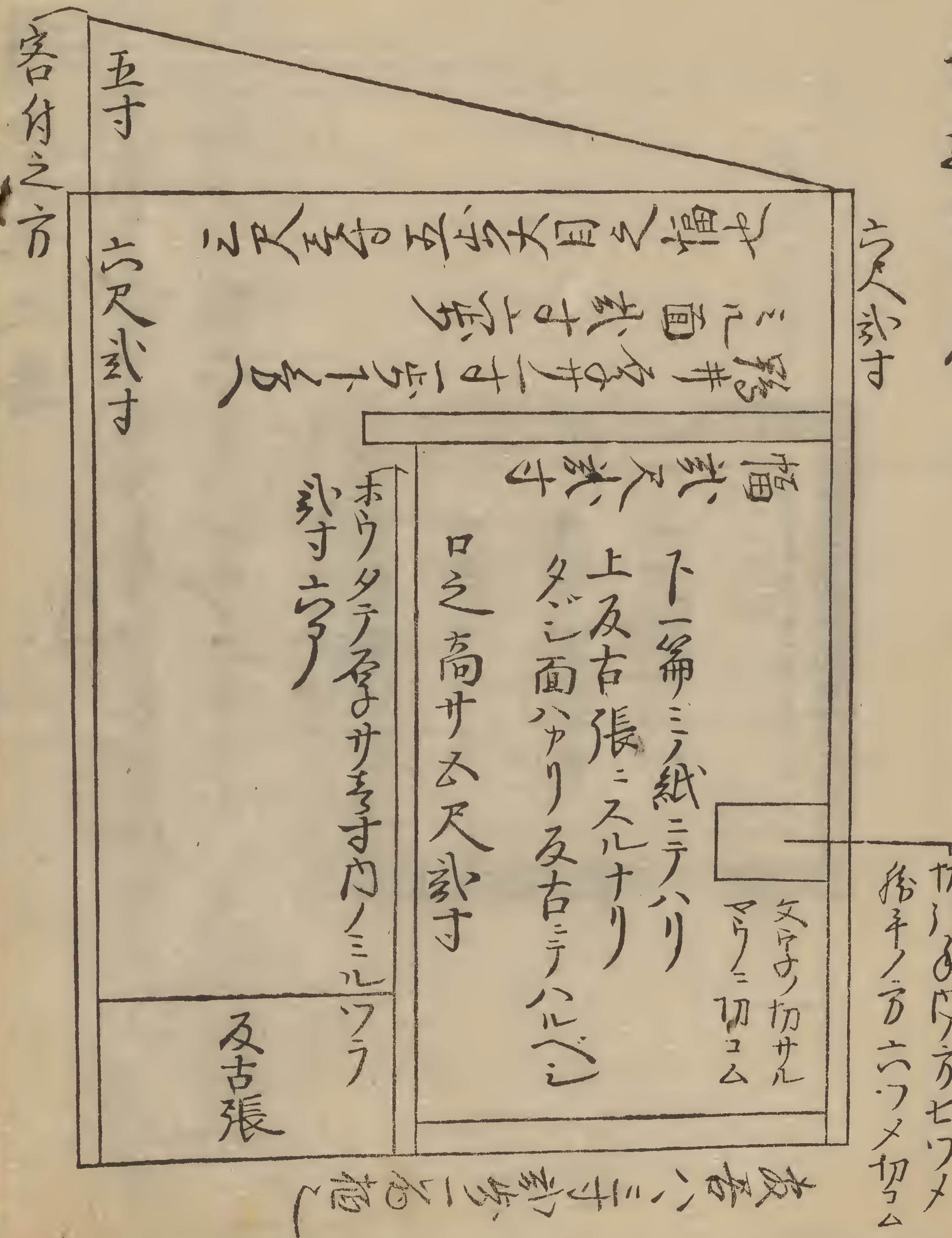
一ヤネ裏ノ時ハ上ヘ五寸上ゲテ六尺七寸ニシテカウハイヲ付
片貼ニスル竹タル木縁先ニ六本ヲ女竹弐本ニ並
ニシテ竹ノ皮ヲ取テ切口ニタルキノ間ニ立一本入ル處ニテカクス
タルキノ上ヨリテクワノフ以ノ釘ニテ両方ヨリ打留ル板ヲ上ニ
赤松ニテヤネ裏
ヲ打セカヤ手鉤ハ
ワラニテ打縄ヲ
付テスイブクヲ
シメル



障子ノ紙ニ

一三寸戸ヲビハウヘニテツキ上ル

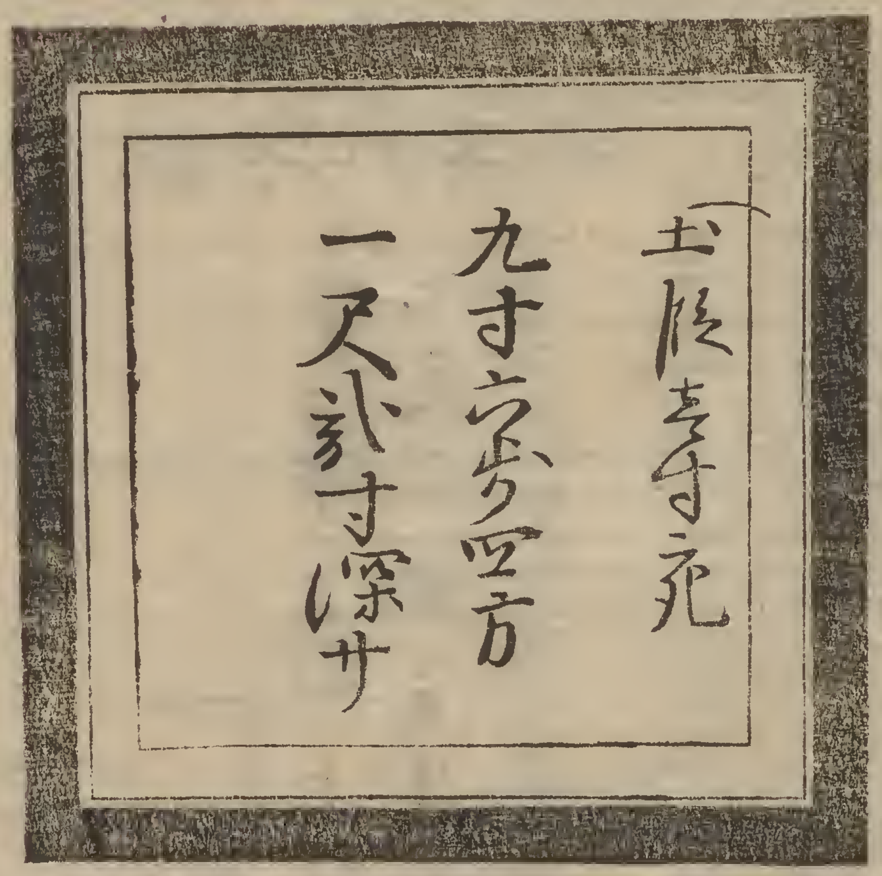
茶道口之図



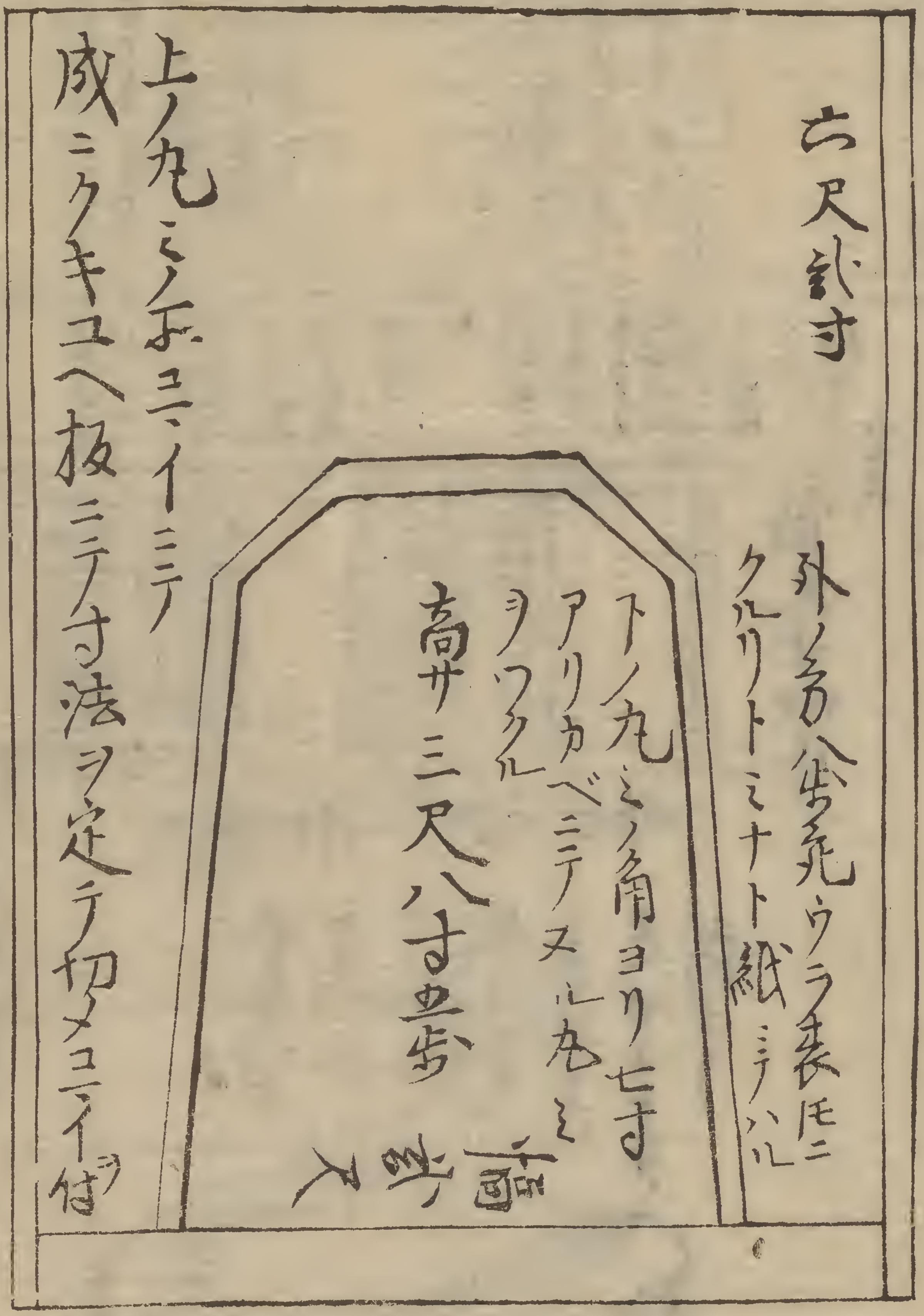
囲炉裏之図

一 炉縁長ケ弐寸弐歩厚サ壱寸弐歩内メニ弐歩
弐ツホゾニ指也色ハ黒ヌリ蓋ハ木地縁也

外ノリ壱尺四寸四方

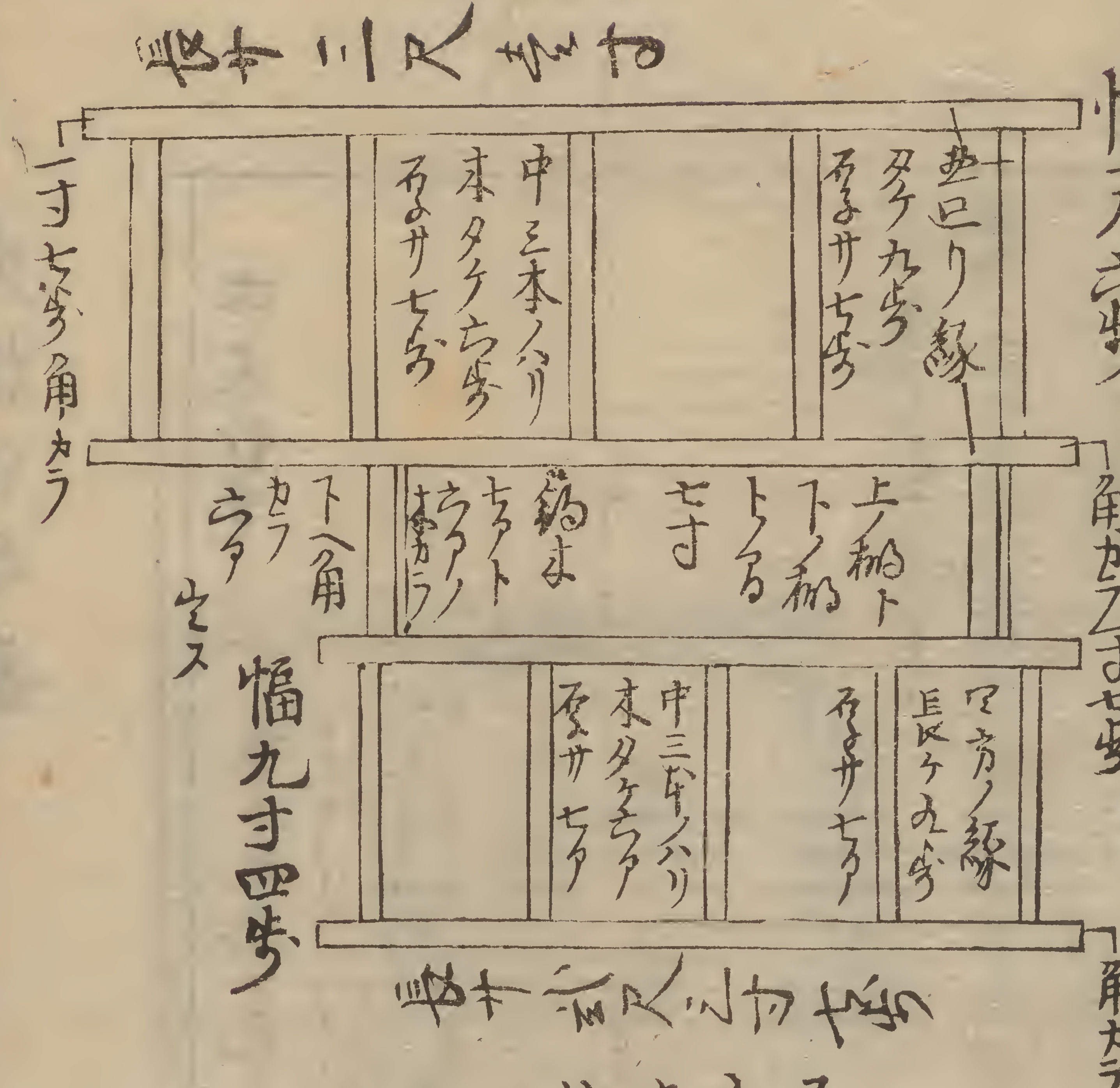


火焼口之図



一 円障子裏表ヨリミノ紙ニテハリ上厚奉書ニテ
ハル之切リ手表ノ方下ヨリ五ツメ横ヨリ六ツメ

刀掛之図



石之上ゟ二尺二寸上ノ稲ニテ故ニ石之高下次第ニスヘ刀カケヲ釣ナリ

一踏リ上リヒサシ迄ハ外腰繪ケタ下ニテ六尺五寸也
一惣腰板ノ高サ九寸
一踏リ上リ段石高サ二寸五分ケコミ板ケ三寸五分
ノク柱居ノ石高サ土ヨリ一寸五分之
一掛モ石ノ高サ織部ハ一寸五分遠州ハ二寸之
一掛窓ハノカケ戸ハ小窓ノサシハ中一通中窓ハ中ニ二通
大窓ハ三通ニスル之
一刀掛ノ脇ニカベニ幕絲ノ釘長サ一寸一分小口五分
丸クカタヲシテ打之幕ヲカケテアルナテ下ヨリ八寸上
テカクル
一路地ノ段ハ一尺一寸遠州之縮遠（スヂカヘ）ノ石ヲ遣之

猿戸之図

一戸幅弐尺七寸五分長ケ三尺八寸五分門柱ハ分宛

門柱ハ何木ニテモ皮付ヲヨシ　上ハトノ角カラニ出ル

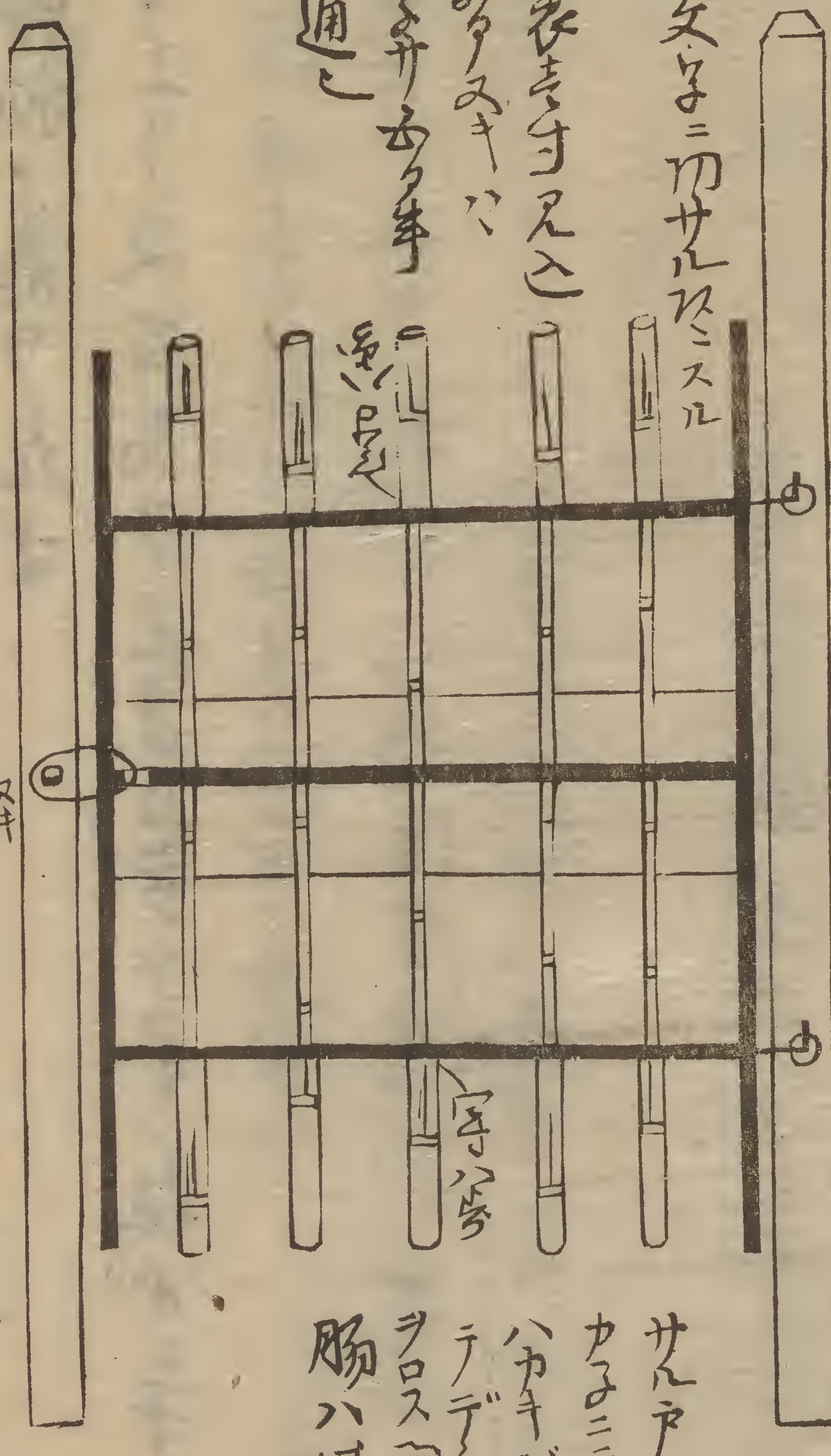
アタマソギテ上部一文字ニ切サルスニスル

カミニテ表ヨリ五寸見込

五寸ヲ弐タノ又キハ

カタソギ井カタ手

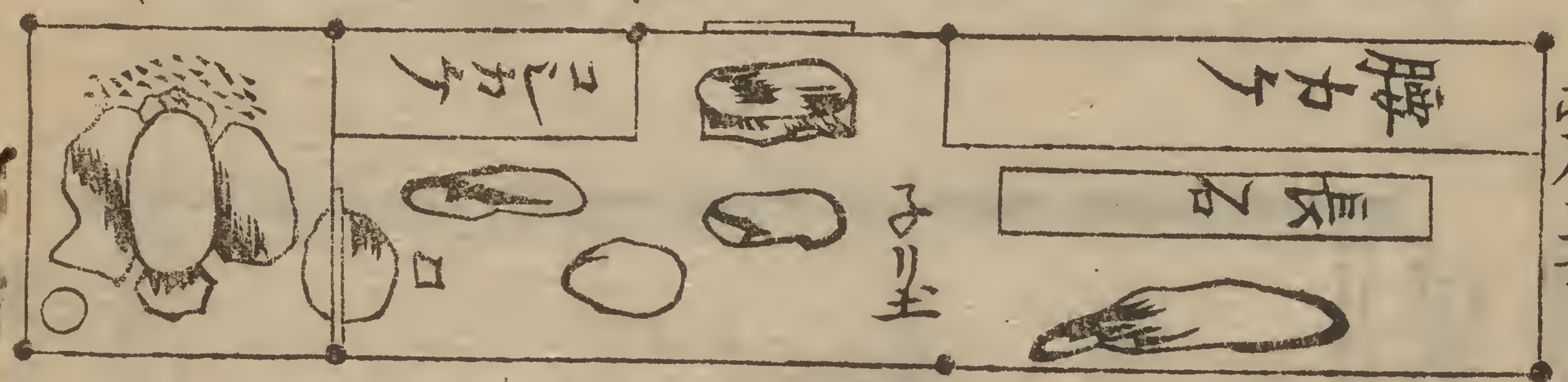
但三通し



サル戸ノ七デ
カタ二テ鉛
ハカキガタニ
テデウヲ
ヲロス門ノ
胴ハ黒焼

一猿戸猿ハトノ表口ノ字ヲ切リ掛上ハ櫟ノ方ヘ下テ板数三段之立ニ

竹ヲ木割竹ニ〆テ弁伹長サハサミニ〆テ押縁有

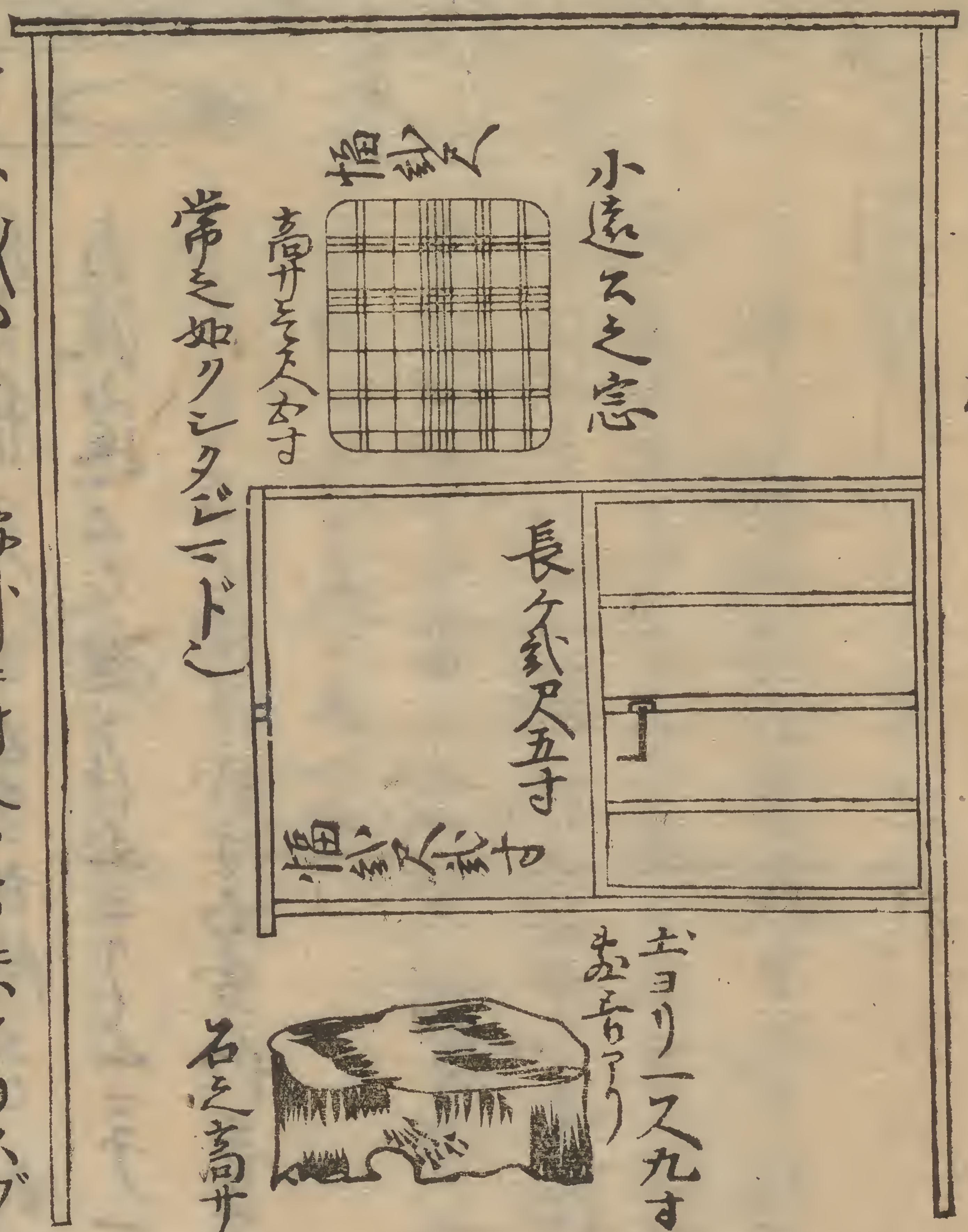


腰掛之図

腰カケ幅一尺八寸五分古織云之　弐尺八寸遠州流ニ遠云之腰カケ土ヨリ上ニテ一尺八寸ワキ石ノ高サ弐寸五分但長サ切石ニモ外ハ子リ土ニスル也

雪隠之門之前ハ据ナシ雪隠ノ一方ニ紀ス大サハ右腰掛之並之雪隠之内子リ土ニモテ上ニ向キハリ石ヲ按之角ノ塵穴下ヘ少砂ヲ入テ松ノ葉入ルヽ

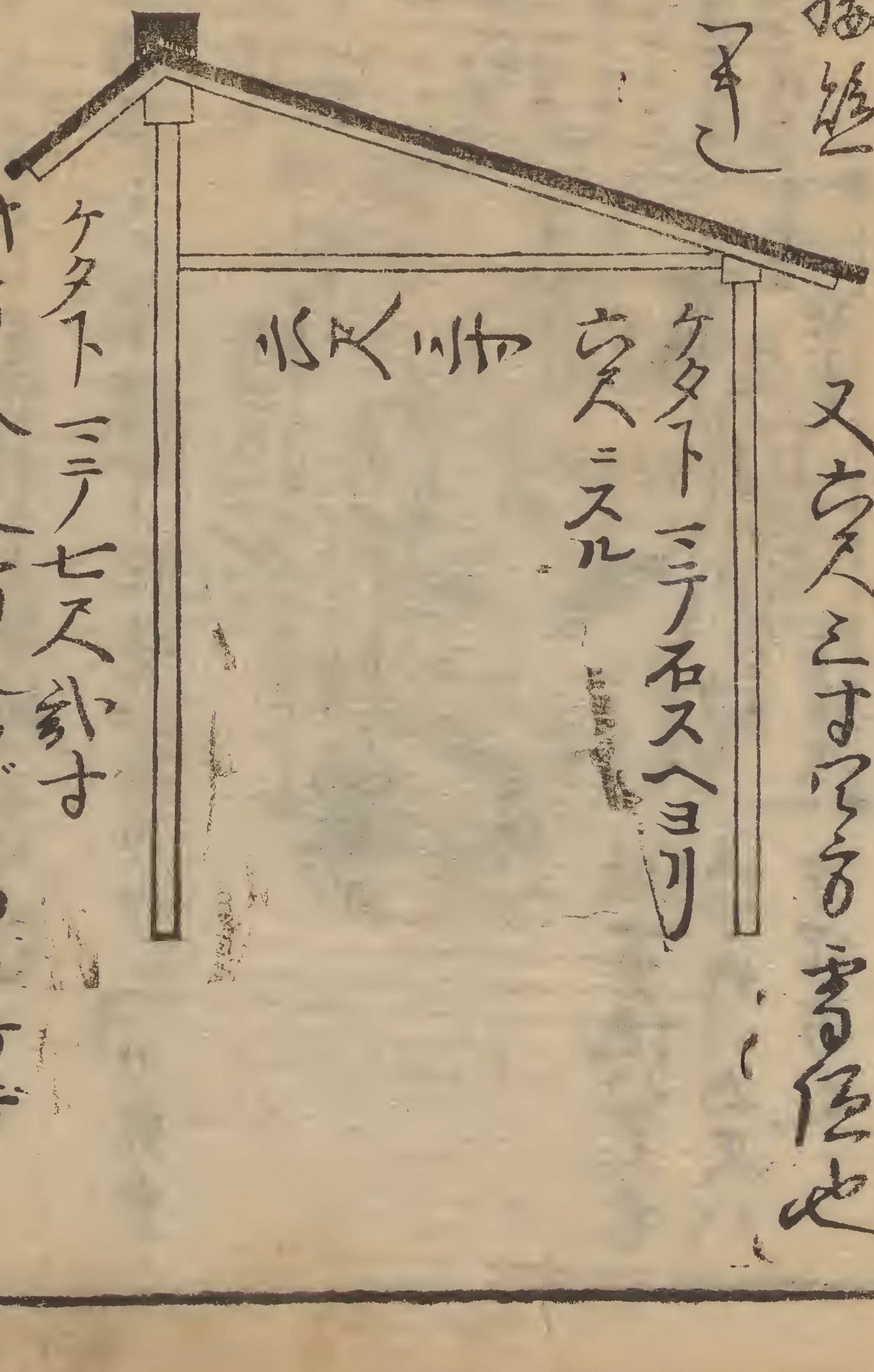
クヽリ之図



此窓織部ハ下操掛ニ付外ノ方ニハイヨスダレヲ
カケタル物也ヲ物尺ノ窓ト云先師ハ古織云云

腰掛之マチ之図

一 其長サ太サ内二尺上ノ方中クヾリ六尺三寸 又
六尺三寸操掛 又六尺三寸マス 書院也
マチハ大和マキ也



雪隠円之図

一 浮之円深サ九寸下二寸ホト白砂ヲ入ルヽ

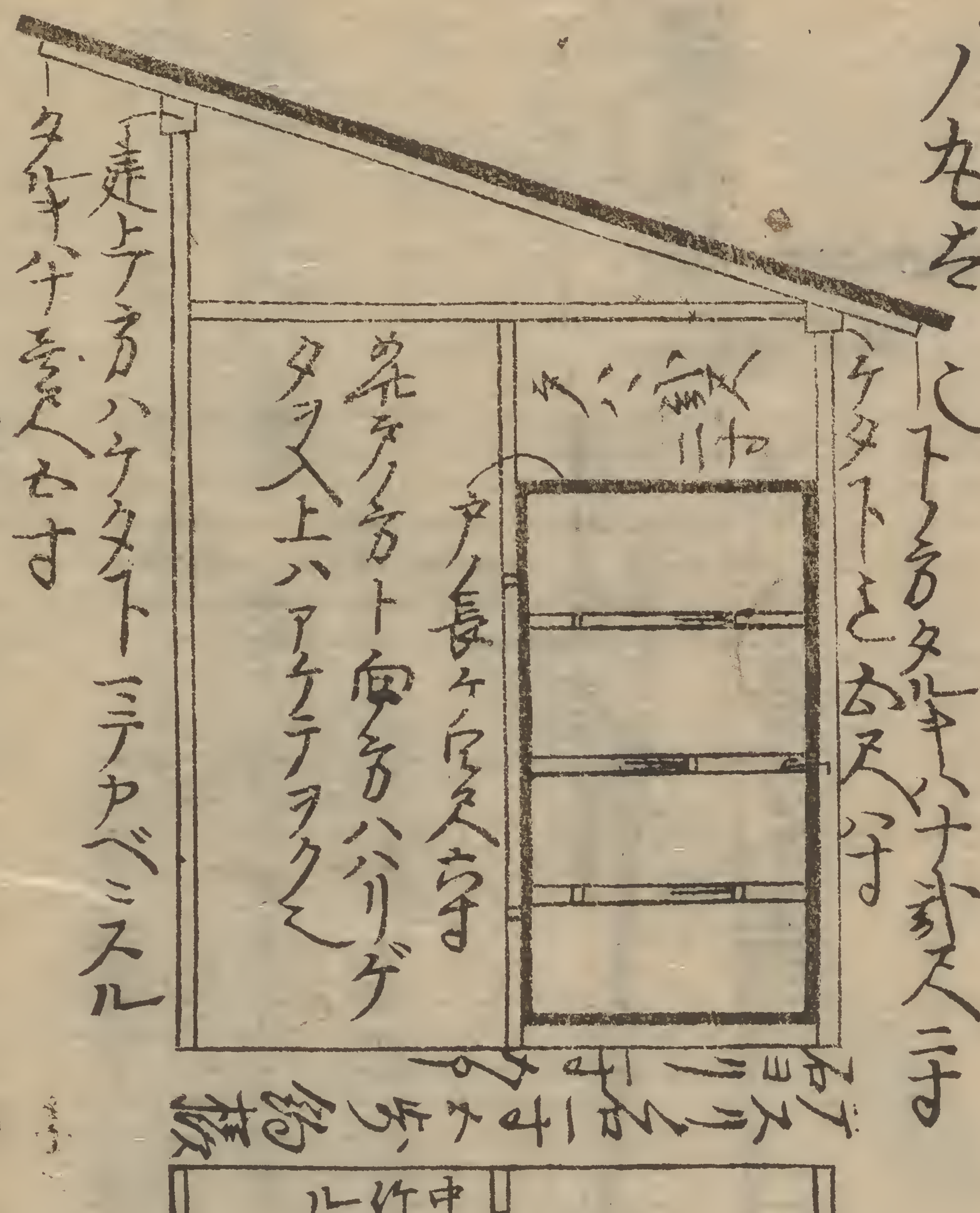
一 角之唐穴捨深ヽ六寸深サ九寸フチヲ少丸ミヲ付テ子リ土ニテヌルヽ

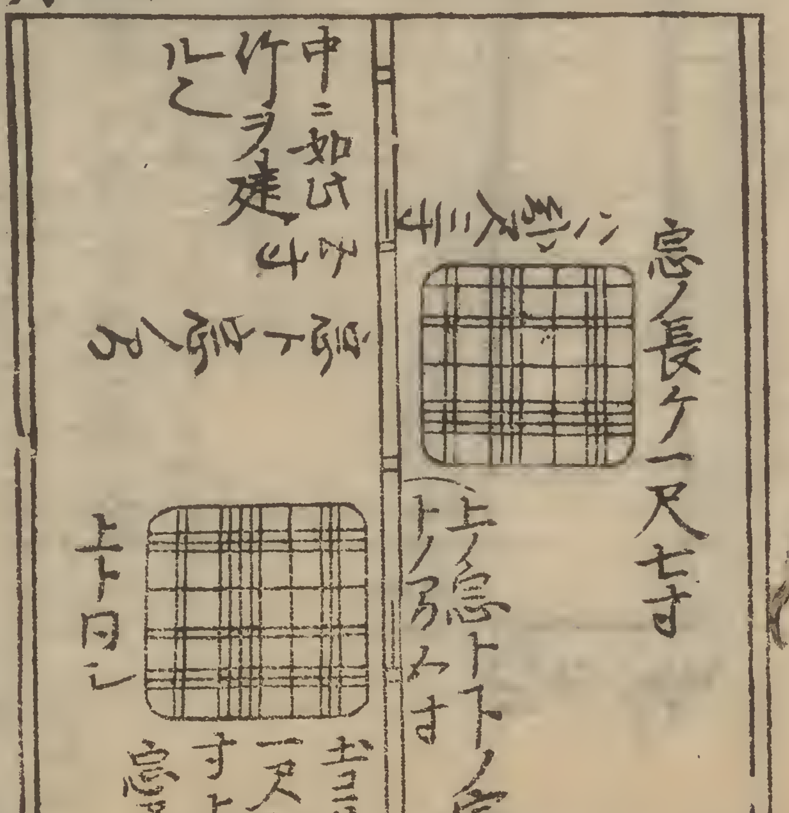
青葉ヲ六寸ホト入ル
秋ハ紅葉ヲ入ル

此雪隠ハ十二雪隠ハ方五尺八寸四方也

雪隠之戸并ニ遠窓之図

一 柱ノフトサ弐寸七八歩ニ寸ヽ吉栗ノ皮付又ハ杉ノ丸太

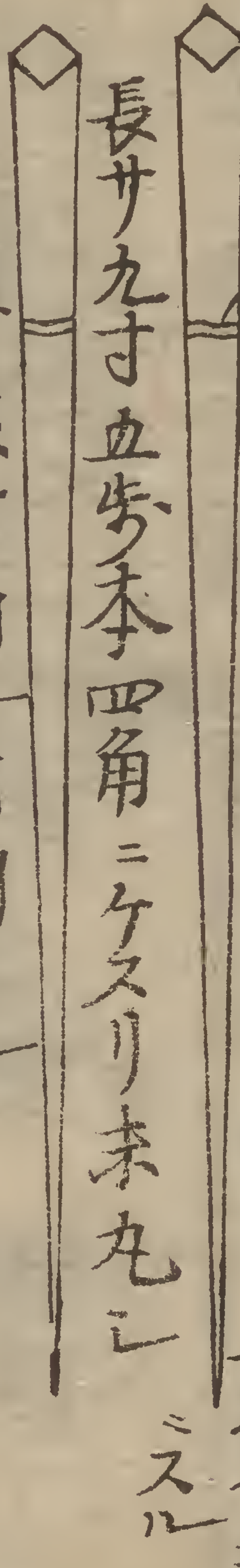




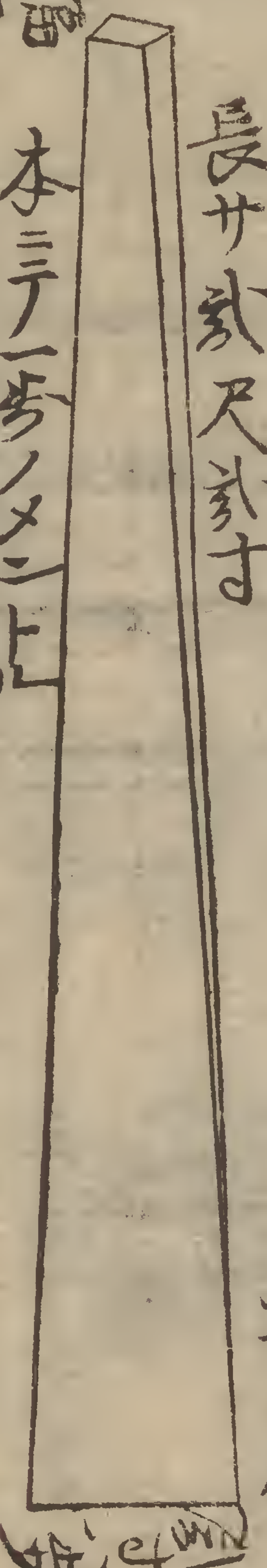
一 タル木ハ竹ヽ上モ下モメドハネ入

一雪隠ノ内腰板九寸隠ノ方一尺三寸之

塵穴之竹箸



觸枝板

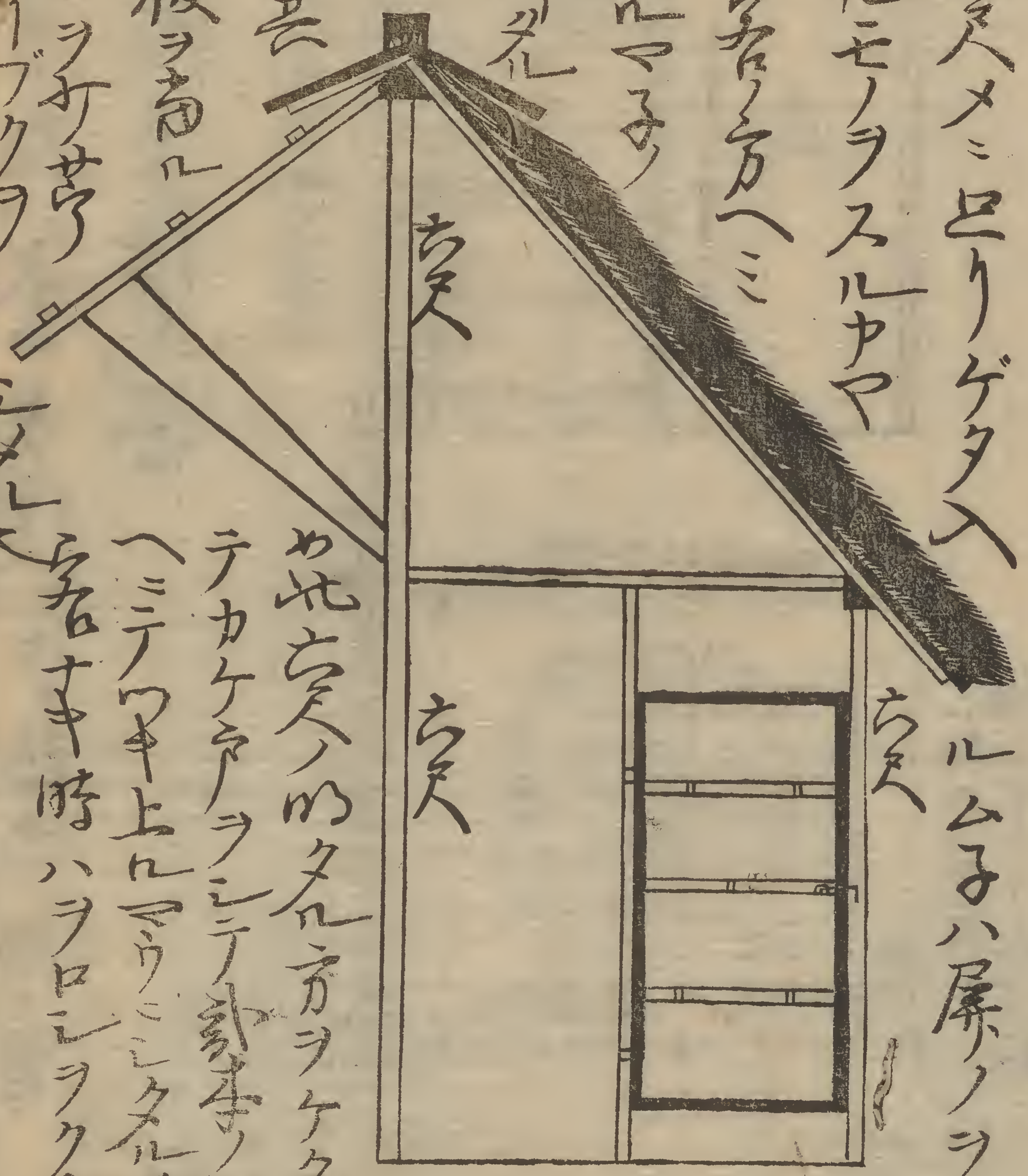


一雪隠戸口ノ向角柱ヨリ弐尺メ青竹ヲ立節カケテ釘ヲ打也釘ノ打様ハ節ノ先ヨリ八寸上テ打之丸釘之

カマフキ之雪隠之図

一弐尺半之柱ヲ三尺ホリ込トニナヘ子ノカセヲ入ル土ヨリ六尺メニ延リゲタヲ入ノ如クナルモノヲスルナヤフキノ方客ノ方ヘニル様ニ作ルマ子ノフキヤウハ竹ノ外ニキニテ竹ノユニヒヲカキ共上ニヘギメ板ヲ当ル共上ニクワンヲ打ナハヲ付スイブクヲニメル之

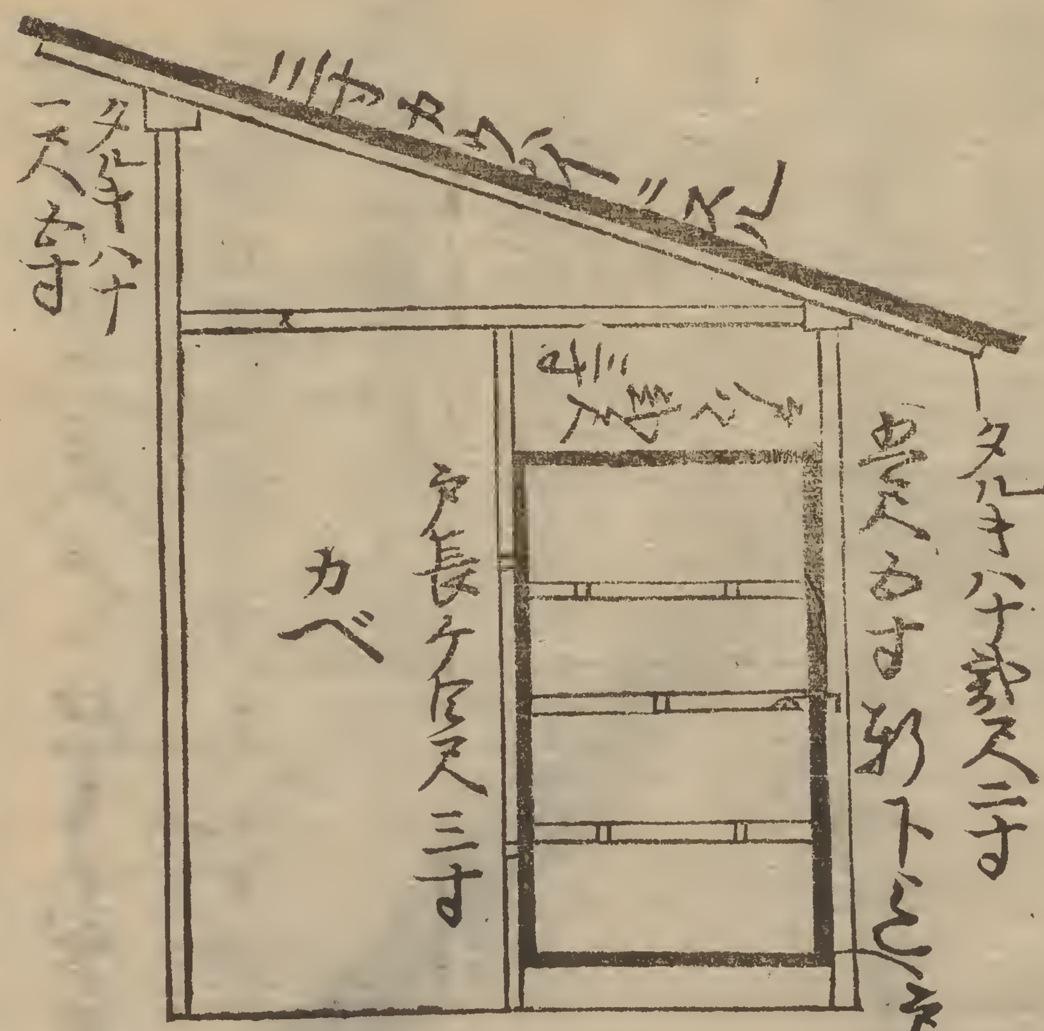
ル厶子ハ扉ノヲヘイ

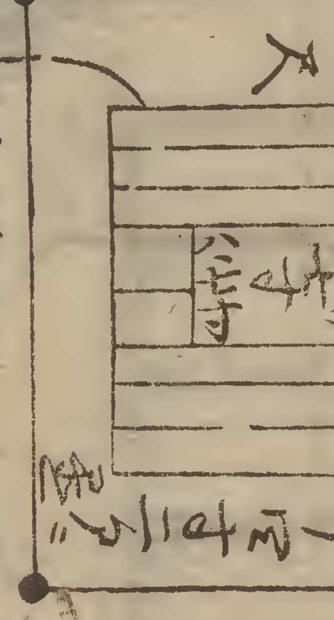


右此六尺ノ内タルカヲケタニ付テカケアノヲニシテ弐寸ノヒハヅヘミテワキ上ルマウニシクル物之客ナキ時ハヲロシヲクナリ

右アマブキ雪隠ハ文案雪隠ニシテ極也ノ内ニ有

下腹雪隠之図

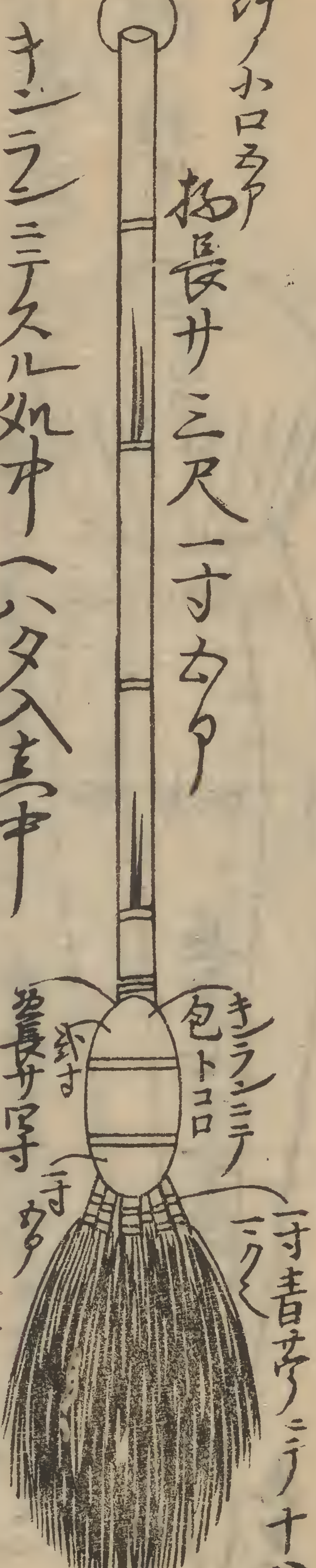




一腰結ニツクノ雪隠ト文案雪隠ニハ

白キ割石ヲニリ之濱砂ヲニクハ名ト(?)ヘ石雪隠ニテモト掛(?)之

刀掛之脇ニ餝ル文案箒之図



一キンランニテスル処ヰハタ入キ申

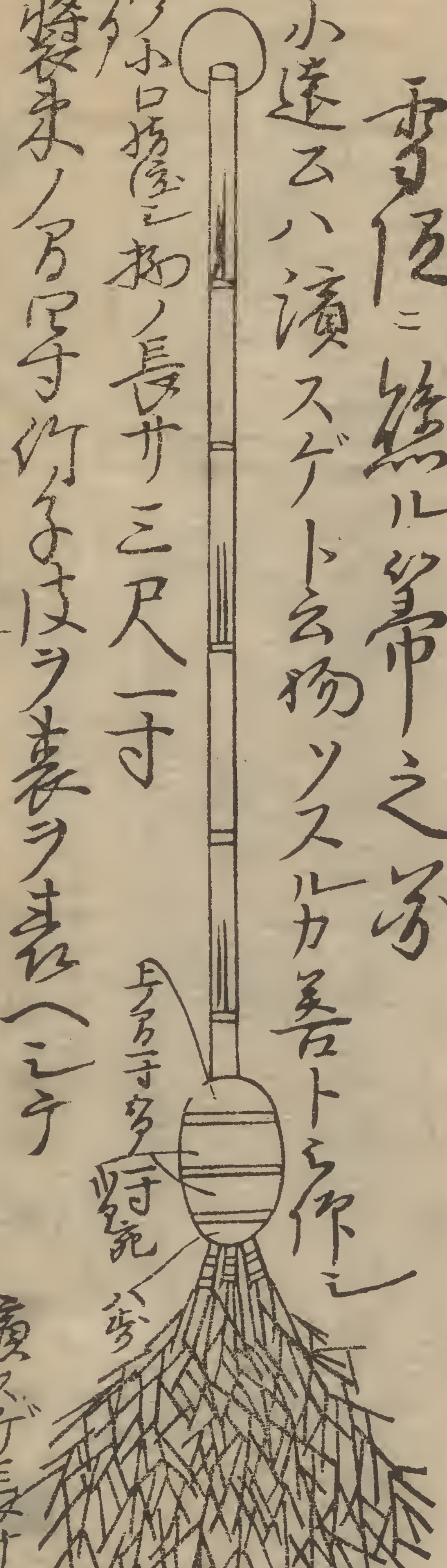
フクラカニアト先ニテシムル也

一紵ヨシヲ指ホトナタバ子ホヲ乱シナスヒラメテ又一本ニ

アツメ青苧ニテ一寸ニクヽヨシノ中ヘハホヲ入ル之

雪隠ニ餝ル箒之図

一小遠云ハ濱スゲト云物ソスルカ善ト作ニ

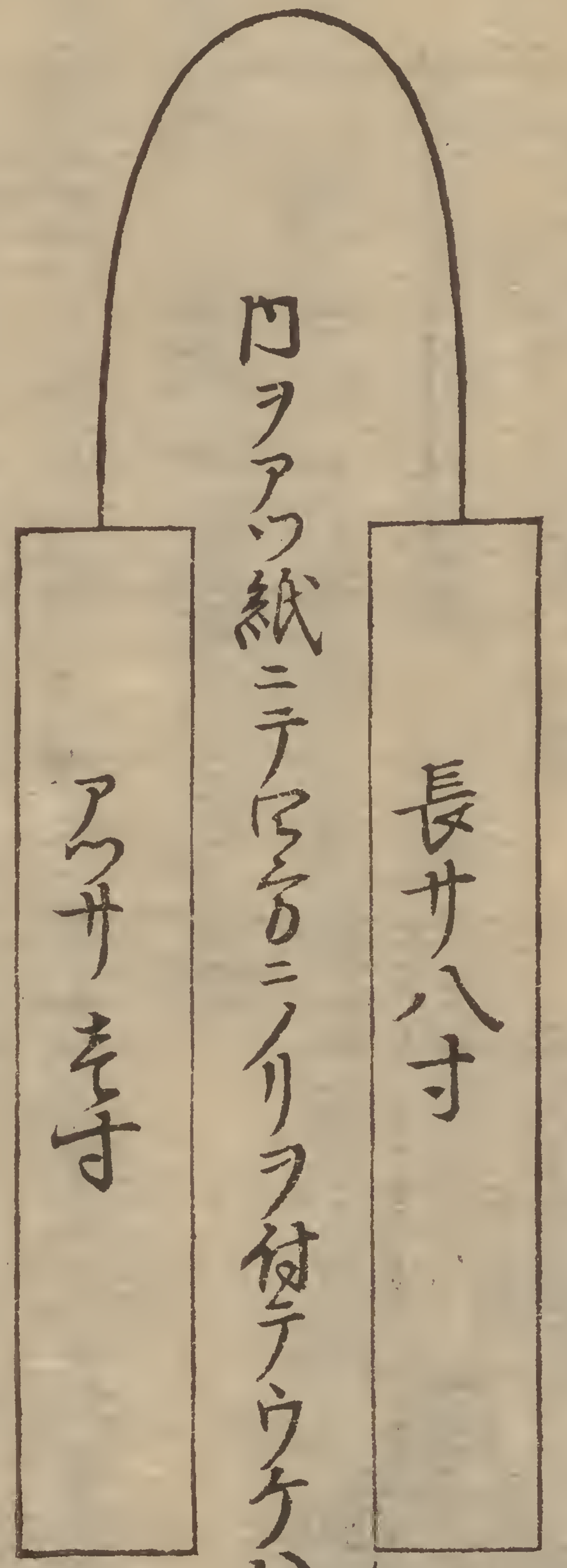


一鮫(?)東ノ万ワ寸竹ノ皮ヲ裏ヲ表ヘニシテ

三ニ小青苧ヲ以結之

拍子木之図

井樣



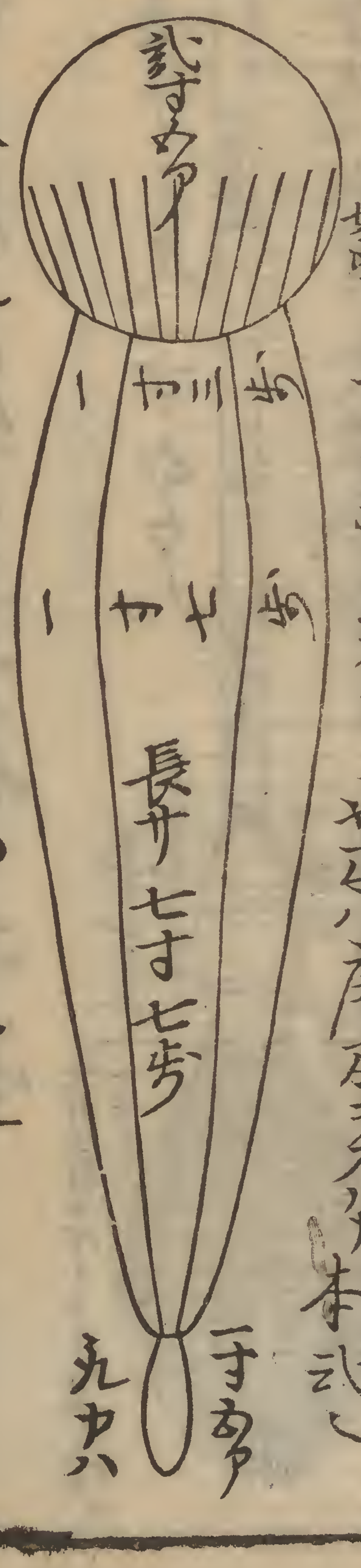
トラノバチ之図

小遠江之
御好ニ

井樣

如此下ノ方ニシホヲヨスル也
此本ハ唐木ヨスルナリ本ニ也

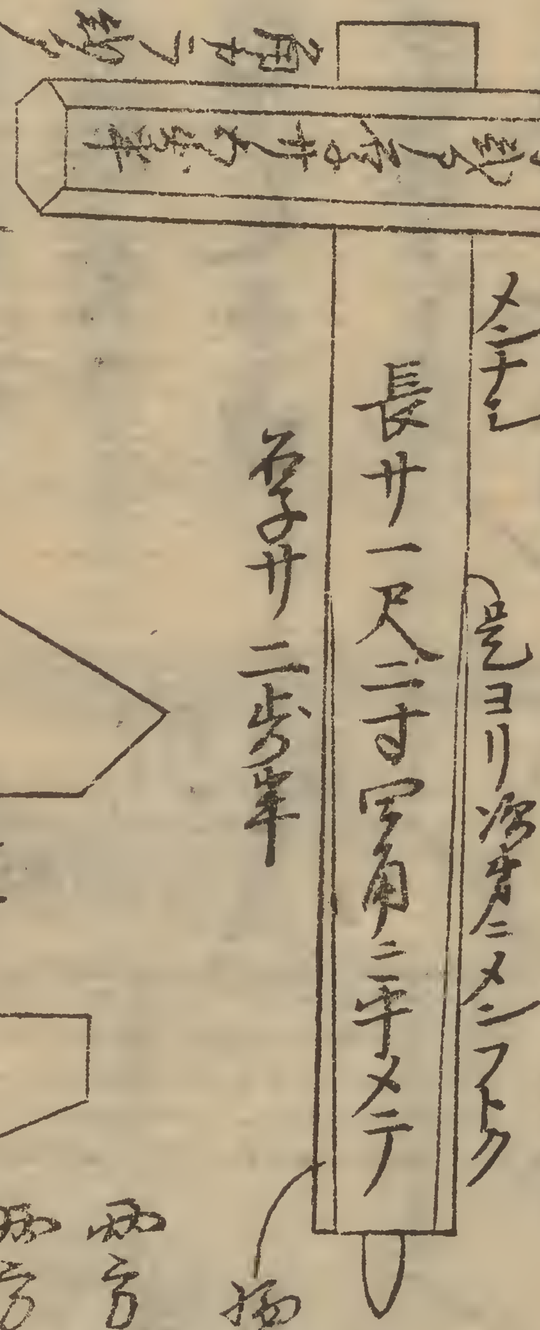
本末氏ニ八角ニシテヤドヽヽニ丈丸ミヲ付ル



喚鐘之手木之図

井樣

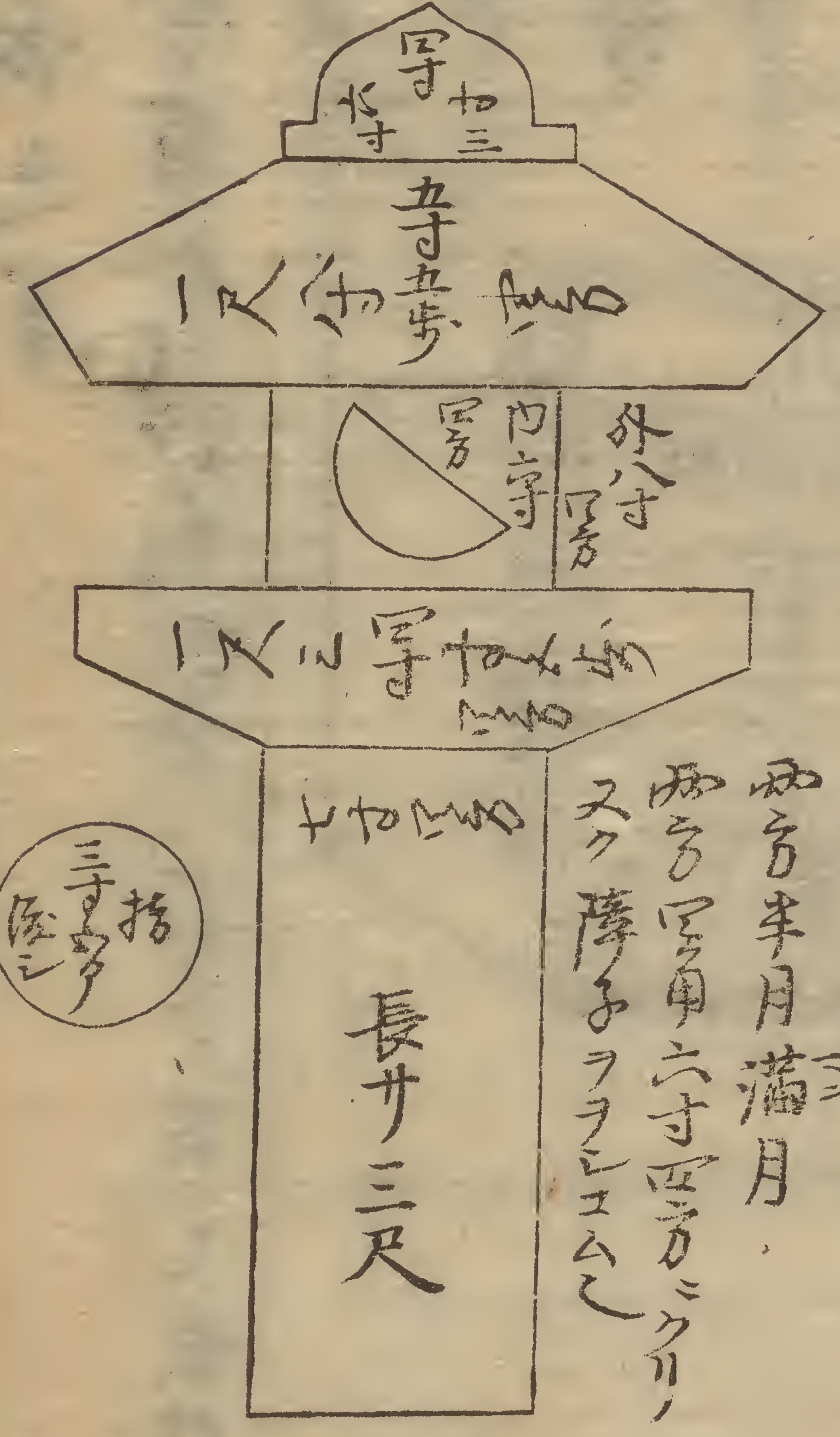
八角ニヒラム



惣長サ二歩半

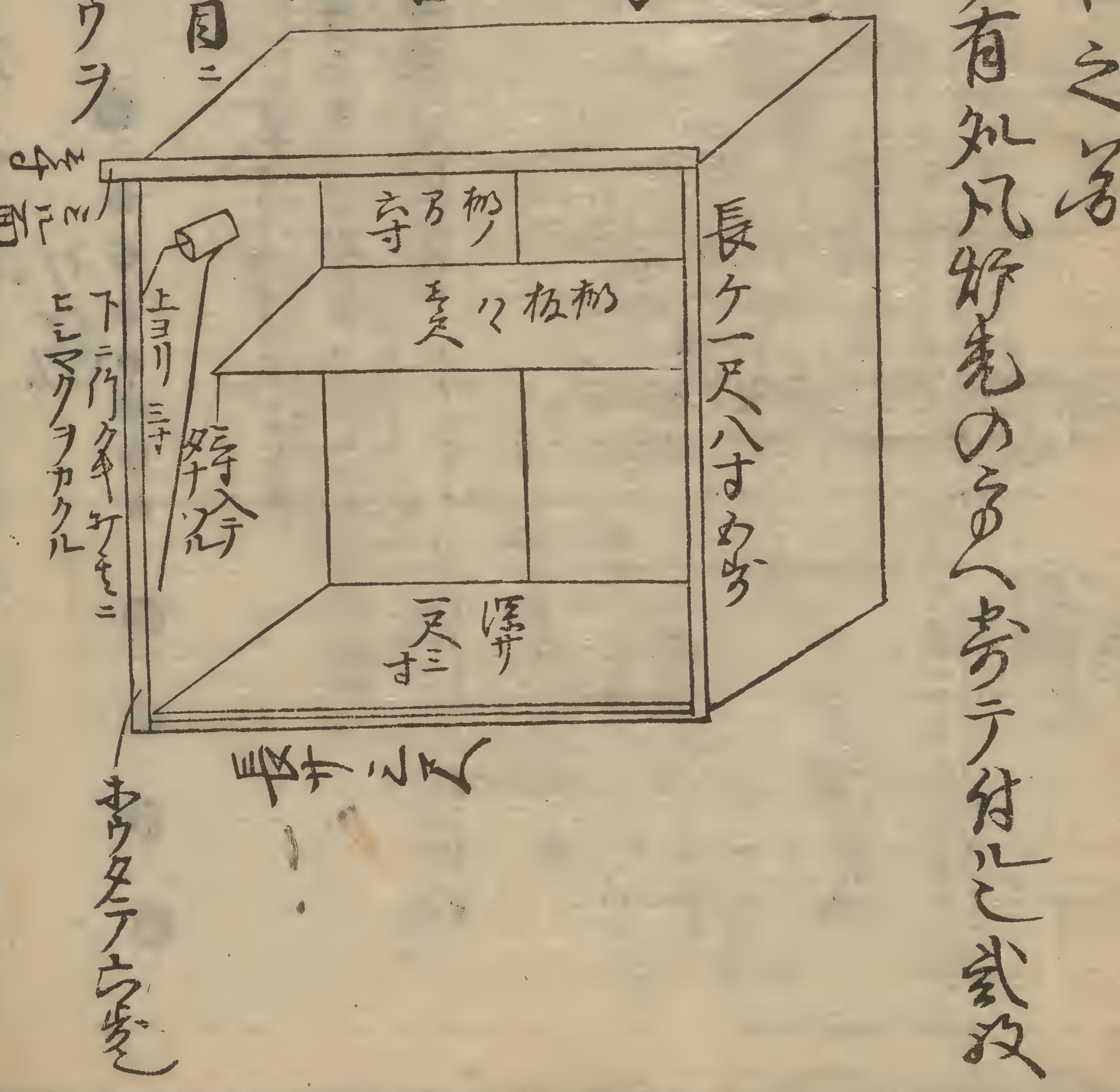
革皮

石燈籠



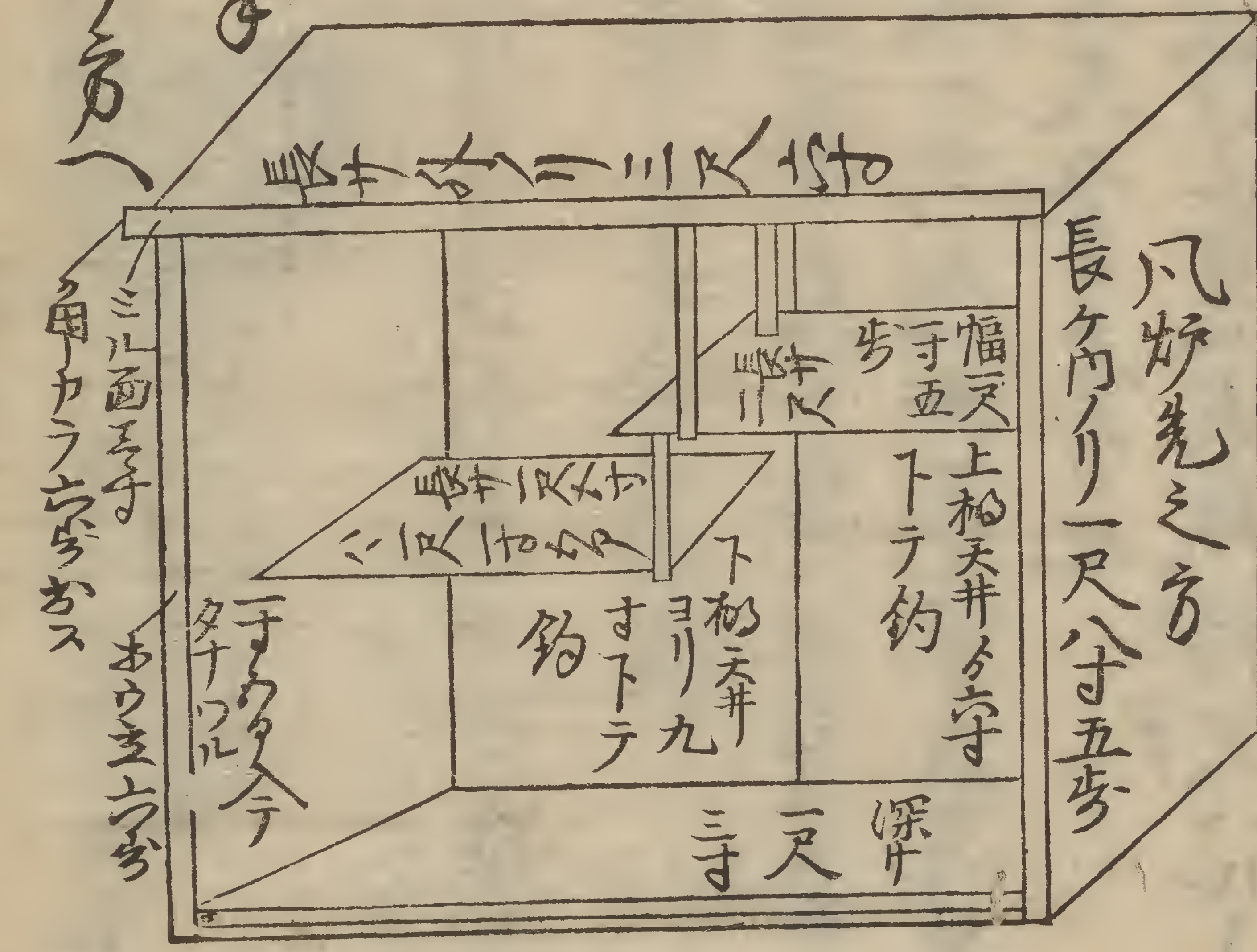
利休堂古之分

一 付不ル色紙窓ノ有処風炉先ノ戸ヘ寄テ付ルヿ武致
障子ニシテ面子
奉書ニテ表裏
張ル也中ニ切形
有リ鍋ニ付ル
後ハ板戸也古
内ヘ戸表ノ方ニ入ル
板ニ二枚戸也遠目ニ
ワカキカタチニテデウヲ
ヨロス



織部堂古之分

一 上板表方天井ヘツル古ノ
方釣木六分四方下ヘ
六分角ヨリ出ス後ノ方
八六分厚サ三分也
板ヲ取ノ戸キ八ヘ寄テ
ツル何モ色付也
一 古之戸ノ障子ニシテ奉
書ニテ張表方ヘ切形
付ル板ノ方 板戸内ノ方ヘ
戸表ニ入ル也



羽帚之図

右之寸法ニテ尺ニクキ羽有共時ハ其死ノ寸法ニ違ニ之
凡都先扇風并茎子扇風之寸法
一長ケ弐尺円五分半ト六分ノ縁之縁ハ何ニテモスル
一長サ三尺一寸五分又三尺又ハ弐尺五寸余程ニスル
一茎子扇風ハ長ケ壱尺八寸六分也
右廿扇風ハ毎面ニシテ絵ヲ書之色紙短冊(タンジャク)尺ハルナシ
縁ハ未地之、茎上ニ竿ヲシゴニテ打付之

竹輪之寸法
一長ケ一寸六分指渡シ一寸六分
茶巾之寸法
一利休ハ七寸布ゝ　私曰布六寸ニ切テ縁ヲ
一織部ハ六寸六分布幅　伏ミイニスル時ハ五寸五分ニ
一遠州ハ五寸布幅　九是ヨシ
釜拭寸法
一布縮冨ニ切テフセミイニスル五分ヨケイヲ切ヘシ
帛物寸法
一九寸五分四方　善之
絲棹之寸法

一長サ三尺四寸五分竹ノ太サ三分半ノ四分
本小口矢ハズニシテ木ハヲ糸ニテ巻テ末本一文字
ニ切五分メニ穴ヲ明ケ紫皮ニテ緒ヲ付座敷ノ
柱ニカケ置之

茶釜洗寸法

一指渡シ一尺又ハ八寸ニモ長ケ二寸五分板ノ厚サ
弐分也

菓子臺汁之寸法

一箱口ノ指渡シ七寸九分四方同ソコ七寸三分四方
一箱長ケ四寸右臺厚サ長ケ四寸一分内上ヨリ六
分下ニ張木入九本末ヲ五分四方張木六分

半敷キ箱内ニ入テ二分箱ノ縁ニ掛セテ箱内
下ニ四分六分箱ノ板厚サ弐分ニ重座板同之

数寄屋灯焼寸法

一八寸四方上弐分スバリ　柱ノフトサ四分四方
一臺ノ長ケ一寸八分　上下ノ紙ドモリノ糸ハ厚
一竹ヲ長寸ニシテクルリト大サ弐分半ニスル
ニゲト臺ヲ火カケテ下ヘ通シ下ニテ留ル灯焼ノ
サヤ上ニ三寸五分出シ其ヲ敷キニスル二寸下ニ
ケムリカヘシノ板ヲ入ル中ニテハフクレ竹ノキハ八一八
イニスル
一クモデハ大竹ヲ小口切ニシテ長ケ八分足ヲ臺ニシ

コム也

右之灯爐ハ末社ニスルガ本式也土器ハ焼土器ノ

一 路地灯爐ハ右之寸法ニ同寸ニ上ヲ一枚板ニ而打付
四方一寸宛ニケタヲ入共ニ下ヲ張四方板ヲ八分
宛出シ雨之用心ニ上ノ板ニ二分ノ竹ヲ打ホト二
角違テメハジキヲ入ルカタ地之冥ヌリニスル也

路地ケタ寸法

一 厚サ壱寸弐分　長サ七寸弐分半

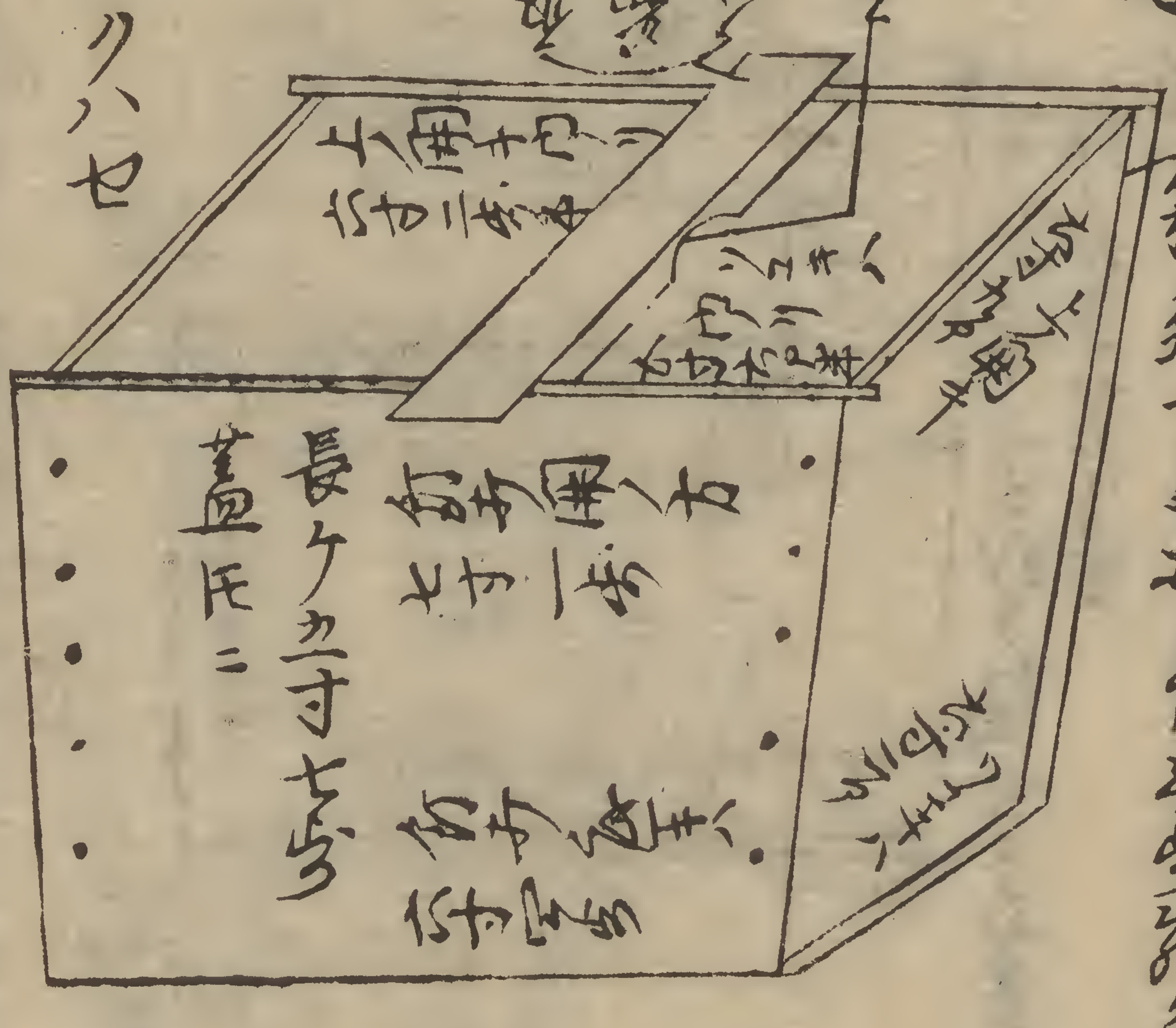
一 広サ二寸九分

一 ハナヨリ方壱寸弐分ノ所ノ方二寸五分竹七ツ打カ木ノ不
也上ノハナヨリ穴上ヨリ壱寸弐分下ノ二ノ穴下ヨリ二寸

四方ニ入ノンヲ取也

釣瓶水指之図

一 蓋厚サ弐分半ニ板ニシテ

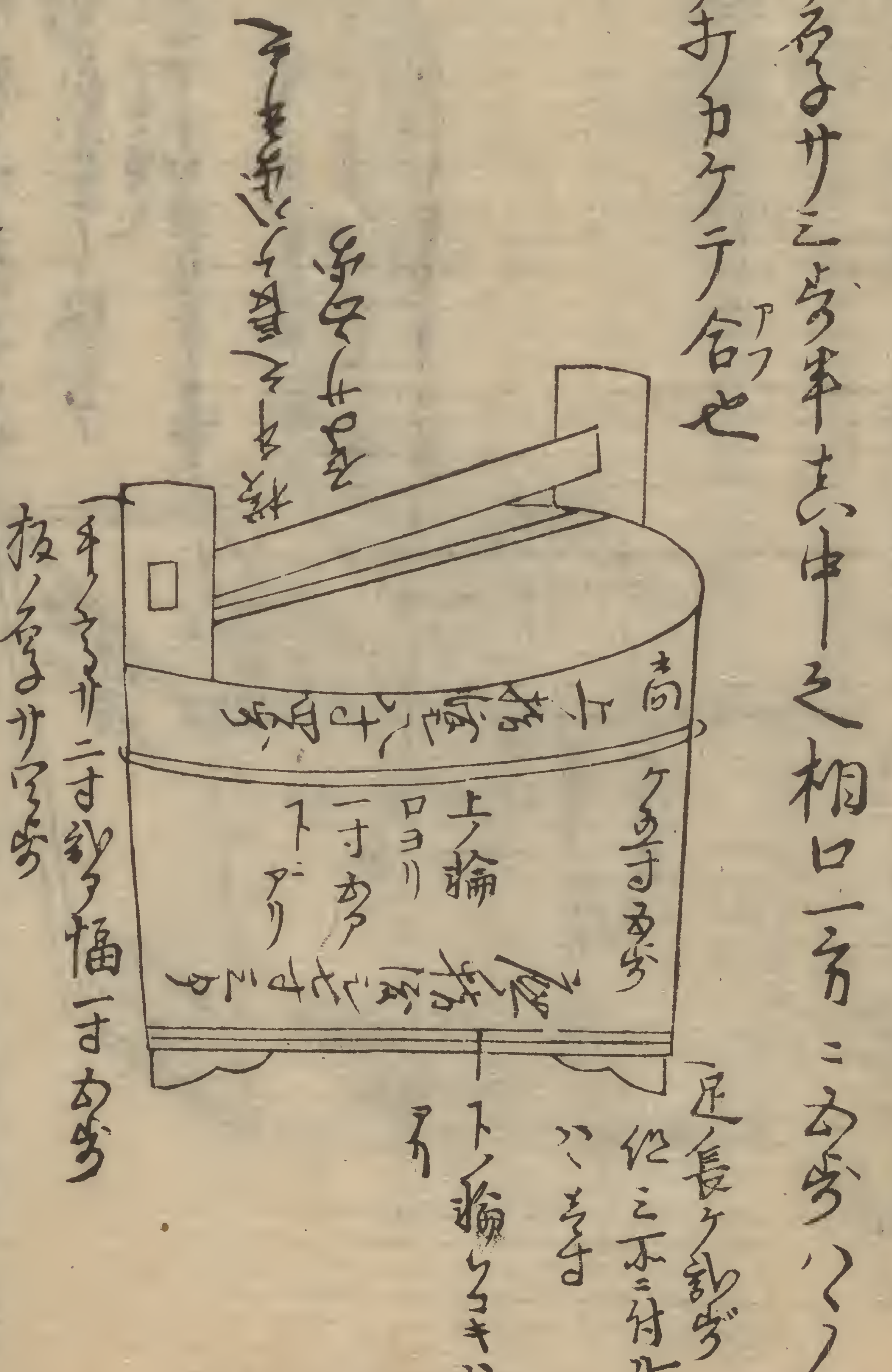


箱外ヘリキオノ方壱分宛角カラ出ル

右釣瓶ハ能ケズリミクハセ
ヲ竹釘ニテオサテカヘカウシテ
竹釘ヲ長広ニノ方ヨリカナ釘ニテ打シ内ヲ角(スミ)ク
コクソヲカフテ上ヲスル

真之手桶之寸法

一蓋ノ厚サ三分半真中之相口一分ニ五分ハゝノ物ヲ手ニカケテ合也



右手桶ハナルホドカタ作ニ
コレラハ夕ル物ゝ真之墨ハ陰陽也

さびしき雨ハ夜円志の客来あく昔との物傳して湯のこ好み客自らき此茶之湯流傳集ら云書其方ゟ作るよしめ何ぞ教たる後ゆへく作るそコヲ客傳道ハ昔より有る如此古織傳草人木利休云細川三斎書伎蒙集要録三傳集雪月集全書九通此云ある手門三傳集雪月集ハコアゟ筆作也ニ手あ此書ニと名云名句ハことく不首く今日初心の人のためよるもむ三傳集よりかく初学の為に此引導を雖書未多不全故よと此流傳集ゟ々ハ五道の茶の湯を立又盆點

儀茶碗臺天目御成之次第家々ハ法茶
等ハおほく其外に名師之金言妙句ある
て茶道れ根元出生を書く御学れ
人の引導とする茶道の達人ハあるまじく
とかくしまで凡夫妙心の人の便を求さとらバ
有がたり佛の教なきと一万巻の経くよまし
五字七字の佛名を唱る功ハ極楽に
至とハあきらか又聖経大学の教なきを知致
格物ハ場によつて治国平天下とハ蜜迦然に
とハ此流傳集ハ知致格物に佛名に題号に
又妙字より入てこそ其多く名をあけるほどの茶

の湯者とハなりがたかるべし又一口流傳集とも云
ものゆゑ何ぞ予若流傳ハ流の傳へるばかり予師
小堀遠州公の御風をまなび得く多ケ年
凡千人にちかくし予又其ひとりとして小
遠公の流の風を傳へ門弟達へと傳へ伝ふ
故其まゝにかくし題号とさそ卿ぞ茶
道ハ穆々として淇なかし予を執ハ合
みして上も作の茶人へけ作を又書し次
く世の宝ともしたまへ

元禄七甲戌

六月十八日

廣長軒元閑 敬跋ス

皇都書林
和泉屋茂兵衛 板行

江戸上野黒門[illegible]町
同 次郎右衛門

[illegible]